

第4節 空間分布

1 石器の空間分布

地蔵田遺跡旧石器資料は総数4,447点で、このうち出土地点を記録した点取り遺物は4,416点で、グリッド単位で取り上げた資料等は31点である。ただし、点取り遺物4,416点のうち、58点は点取りで取り上げたが台帳に出土地点の記録が未記入であったため、出土地点の記録がある石器の実数は4,358点である。これら位置データのある点取り遺物4,358点について、出土石器の空間分布について記述する。

(1) 石器群全体

位置データのある出土石器4,358点の平面分布をみると、視覚的に大きく14箇所の石器集中部（以下ブロックと呼ぶ）が確認された（第72、73図）。北側から西側へ、北側から南側へBL1、BL2、BL3…、BL14のブロック番号を付けた。調査区東側は一部ブロックが調査区外へ続くことが予想されるが、ブロック群が環状に分布し、いわゆる「環状ブロック群」（橋本・須田1987）と考えられる。遺物の分布は東西方向は20m以上、南北方向は約28mに広がり、直径約30mの環状ブロック群であると考えられる。

各ブロックについては、接合資料694点（139個体）のブロック間接合の組み合わせを検討した結果、ブロック1～14の全てのブロック間で接合関係の組み合わせが認められ、一定の時間的同時性を保持しているものと考えられる（表18、19、第74図）。

なお、詳細は後述するが、ブロック4に特定のツール類が集中する傾向がみられ、他遺跡での例を参考にすると、このブロック4が環状ブロック群の中心部であり、残りのブロックは環状ブロック群の周辺部と考えることが可能である。

垂直分布をみると、平均標高は30.938m、標準偏差は0.138m、最小値は30.596m、最大値は31.281mである。遺物全体では、最大標高差は68.5cmある。接合関係のある資料で垂直分布が最も大きいものは、51.4cmの接合例がある（接合11-A-c）。このような垂直分布の上下差は、埋没後のインボリューションによるものと考えられる。遺物の出土は、基本層序のレベルからみると、調査時の所見どおりおおむね第IVa・IVb層の出土であると考えられる。

(2) ブロック別石器組成

各ブロック別の石器組成および分布図を、表15、16、第75～81図に示した。表15、16の点数は、点取り遺物で出土地点の記録があるものみの数である。ただし、グリッド単位で取り上げた遺物で、当該グリッドに単一のブロックのみしか存在しないものがあり、ブロック1に剥片1点、ブロック2にペン先形ナイフ形石器1点（16.F.10）、ブロック9に剥片1点加わる可能性がある。

各ブロックとも組成の90%以上は剥片・チップで占められているため、ツール類（石斧・ナイフ形石器・ペン先形ナイフ形石器・台形様石器・ノッチ・鋸歯縁石器・サイドスクレイパー・エンドスクレイパー・二次加工のある剥片・石核・礫器）のみを抜き出したブロック別組成を表16に示してある。以下、石器組成の特徴から各ブロックの特徴について概要を示す。

ブロック1（第75図）

ブロック1は、総数293点で、散漫な分布を示している。ツール類は12点出土しており、サイドスクレイパー1点、鋸歯縁石器1点、二次加工のある剥片1点、石核8点、礫器1点である。石核の出土が比較的多い。ブロック総点数に対するツール類の比率は4.1%である。ただし、当該ブロックにはグリッド上げの剥片1点加わる可能性が高い。

表15 ブロック別器種組成(1)

Table.15. Assemblage of stone tools by concentrated area(1).

	Ax	Kn	PKn	Tr	Ss	Es	No	De	Rf	Co	Pt	Fl	Ch1	Ch2	合計
BL1					1			1	1	8	1	157	94	30	293
BL2			1	2						10		121	51	22	207
BL3	1				1	2			3	7	1	171	191	262	639
BL4		2	15	13	2	2			5	7	1	322	312	470	1,151
BL5	1		1		1				1	2		46	45	44	141
BL6	1	1		3						5	1	46	47	8	112
BL7	1	1	1	5				1	4	8	1	248	332	324	926
BL8			1		1		1	2	1	2	1	59	52	60	180
BL9				4						3		39	21	5	72
BL10				1						1		35	28	6	71
BL11			1	5	1		3	2		2	2	117	70	32	235
BL12				2				1		1		28	9	9	50
BL13		1		1					2	3	1	61	51	22	142
BL14				3			1		1	6		73	44	11	139
合計	4	5	20	39	7	4	5	7	18	65	9	1,523	1,347	1,305	4,358

ブロック 2 (第75図)

ブロック 2 は、総点数207点で、散漫な分布を示している。ツール類は13点出土しており、ペン先形ナイフ形石器 1 点、台形様石器 2 点、石核10点で、石核の出土が多い。ブロック総点数に対するツール類の比率は6.3%である。ただし、当該ブロックには、グリッド上げのペン先形ナイフ形石器 1 点 (16.F.10) が加わる。

ブロック 3 (第76図)

ブロック 3 は、総点数639点で、石器が集中する部分が見られる。ツール類は15点出土しており、石斧 1 点、サイドスクレイパー 1 点、エンドスクレイパー 2 点、二次加工のある剥片 3 点、石核 7 点、礫器 1 点である。石斧 (164) や磨石と考えられる礫器 (3927) が出土している。ブロック総点数に対するツール類の比率は2.3%である。

ブロック 4 (第77図)

ブロック 4 は、総点数1,151点である。最も出土点数が高いブロックであり、石器が集中する部分がある。ツール類は47点出土しており、ツールの出土点数が最も多い。ナイフ形石器 2 点、ペン先形ナイフ形石器15点、台形様石器13点、サイドスクレイパー 2 点、エンドスクレイパー 2 点、二次加工のある剥片 5 点、石核 7 点、礫器 1 点である。ナイフ形石器・ペン先形ナイフ形石器・台形様石器などが集中しているブロックである。ブロック総点数に対するツール類の比率は4.1%である。

ブロック 5 (第76図)

ブロック 5 は、総点数141点で、石器が集中する部分がある。ブロックは調査区外へ伸びると考えられる。ツール類は 6 点出土している。石斧 1 点、ペン先形ナイフ形石器 1 点、サイドスクレイパー 1 点、二次加工のある剥片 1 点、石核 2 点で、石斧 (4385) が出土している。ブロック総点数に対するツール類の比率は4.3%である。

ブロック 6 (第78図)

ブロック 6 は、総点数112点で、散漫な分布を示す。ツール類は11点出土している。石斧 1 点、ナイフ形石器 1 点、台形様石器 3 点、石核 5 点、礫器 1 点ある。石斧 (1082)、ハンマーストーンの可能

表16 ブロック別器種組成(2)

Table.16. Assemblage of stone tools by concentrated area(2).

BL1														
器種	Ax	Kn	PKn	Tr	Ss	Es	No	De	Rf	Co	Pt	Tool計	Tool%	総点数
点数					1			1	1	8	1	12	4.1%	293
%	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	8.3	8.3	66.7	8.3	100.0		
BL2														
器種	Ax	Kn	PKn	Tr	Ss	Es	No	De	Rf	Co	Pt	Tool計	Tool%	総点数
点数			1	2						10		13	6.3%	207
%	0.0	0.0	7.7	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	76.9	0.0	100.0		
BL3														
器種	Ax	Kn	PKn	Tr	Ss	Es	No	De	Rf	Co	Pt	Tool計	Tool%	総点数
点数	1				1	2			3	7	1	15	2.3%	639
%	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7	13.3	0.0	0.0	20.0	46.7	6.7	100.0		
BL4														
器種	Ax	Kn	PKn	Tr	Ss	Es	No	De	Rf	Co	Pt	Tool計	Tool%	総点数
点数		2	15	13	2	2			5	7	1	47	4.1%	1,151
%	0.0	4.3	31.9	27.7	4.3	4.3	0.0	0.0	10.6	14.9	2.1	100.0		
BL5														
器種	Ax	Kn	PKn	Tr	Ss	Es	No	De	Rf	Co	Pt	Tool計	Tool%	総点数
点数	1		1		1				1	2		6	4.3%	141
%	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	0.0	100.0		
BL6														
器種	Ax	Kn	PKn	Tr	Ss	Es	No	De	Rf	Co	Pt	Tool計	Tool%	総点数
点数	1	1		3						5	1	11	9.8%	112
%	9.1	9.1	0.0	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	45.5	9.1	100.0		
BL7														
器種	Ax	Kn	PKn	Tr	Ss	Es	No	De	Rf	Co	Pt	Tool計	Tool%	総点数
点数	1	1	1	5				1	4	8	1	22	2.4%	926
%	4.5	4.5	4.5	22.7	0.0	0.0	0.0	4.5	18.2	36.4	4.5	100.0		
BL8														
器種	Ax	Kn	PKn	Tr	Ss	Es	No	De	Rf	Co	Pt	Tool計	Tool%	総点数
点数			1		1		1	2	1	2	1	9	5.0%	180
%	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	22.2	11.1	22.2	11.1	100.0		
BL9														
器種	Ax	Kn	PKn	Tr	Ss	Es	No	De	Rf	Co	Pt	Tool計	Tool%	総点数
点数				4						3		7	9.7%	72
%	0.0	0.0	0.0	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0	100.0		
BL10														
器種	Ax	Kn	PKn	Tr	Ss	Es	No	De	Rf	Co	Pt	Tool計	Tool%	総点数
点数				1						1		2	2.8%	71
%	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0		
BL11														
器種	Ax	Kn	PKn	Tr	Ss	Es	No	De	Rf	Co	Pt	Tool計	Tool%	総点数
点数			1	5	1		3	2		2	2	16	6.8%	235
%	0.0	0.0	6.3	31.3	6.3	0.0	18.8	12.5	0.0	12.5	12.5	100.0		
BL12														
器種	Ax	Kn	PKn	Tr	Ss	Es	No	De	Rf	Co	Pt	Tool計	Tool%	総点数
点数				2				1		1		4	8.0%	50
%	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	100.0		
BL13														
器種	Ax	Kn	PKn	Tr	Ss	Es	No	De	Rf	Co	Pt	Tool計	Tool%	総点数
点数		1		1					2	3	1	8	5.6%	142
%	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	37.5	12.5	100.0		
BL14														
器種	Ax	Kn	PKn	Tr	Ss	Es	No	De	Rf	Co	Pt	Tool計	Tool%	総点数
点数				3			1		1	6		11	7.9%	139
%	0.0	0.0	0.0	27.3	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	54.5	0.0	100.0		

性のある礫器（1769）が出土している。ブロック総点数に対するツール類の比率は9.8%で、高い比率となっている。

ブロック7（第78図）

ブロック7は、総点数926点である。出土点数が高いブロックであり、石器が集中する部分がある。ツール類は22点出土しており、出土点数が多い。石斧1点、ナイフ形石器1点、ペン先形ナイフ形石器1点、台形様石器5点、鋸歯縁石器1点、二次加工のある剥片4点、石核8点、礫器1点である。全面に研磨痕のある特徴的な石斧（2154）、ハンマーストーンと考えられる礫器（2284）が出土している。ブロック総点数に対するツールの比率は2.4%である。

ブロック8（第79図）

ブロック8は、総点数180点で、散漫な分布を示す。ツール類は9点出土している。ペン先形ナイフ形石器1点、ノッチ1点、サイドスクレイパー1点、鋸歯縁石器2点、二次加工のある剥片1点、石核2点、礫器1点である。ブロック総点数に対するツール類の比率は5%である。ただし、当該ブロックには、グリッド上げの剥片1点が加わる。

ブロック9（第79図）

ブロック9は、総点数72点である。出土点数が少なく、散漫な分布を示す。ツール類は7点出土している。台形様石器4点、石核3点である。ブロック総点数に対するツール類の比率は9.7%で、高い比率となっている。

ブロック10（第79図）

ブロック10は、総点数71点である。出土点数が少なく、散漫な分布を示す。ツール類は2点出土し、台形様石器1点、石核1点である。ブロック総点数に対するツール類の比率は2.8%である。

ブロック11（第80図）

ブロック11は、総点数235点で、散漫な分布を示す。ツール類は16点出土しており、出土点数はやや多い。ペン先形ナイフ形石器1点、台形様石器5点、サイドスクレイパー1点、ノッチ3点、鋸歯縁石器2点、石核2点、礫器2点である。礫器（1731）が出土している。ブロック総点数に対するツール類の比率は6.8%となっている。

ブロック12（第80図）

ブロック12は、総点数50点で、最も出土点数が少なく、散漫な分布を示している。ツール類は4点出土している。台形様石器2点、鋸歯縁石器1点、石核1点である。ブロック総点数に対するツール類の比率は8%となっている。

ブロック13（第81図）

ブロック13は、総点数142点で、散漫な分布を示している。ツール類は8点出土している。ナイフ形石器1点、台形様石器1点、二次加工のある剥片2点、石核3点、礫器1点である。ブロック総点数に対するツール類の比率は5.6%となっている。

ブロック14（第81図）

ブロック14は、総点数139点で、散漫な分布を示している。ツール類は11点出土している。台形様石器3点、ノッチ1点、二次加工のある剥片1点、石核6点である。ブロック総点数に対するツール類の比率は7.9%となっている。

2 器種別空間分布

(1) トゥール類 (第82～84図)

石斧は、ブロック3、5～7に分布している(第82図)。特定のブロックへの集中はみられず、環状ブロック群の周辺部に分散する傾向にある。

礫器は、ブロック1、3、4、6～8、11、13に分布している(第82図)。特定のブロックへの集中はみられず、分布は散漫である。

ナイフ形石器は、ブロック4、6、7に分布している(第82図)。ブロック4へやや集中する傾向にある。

ペン先形ナイフ形石器は、ブロック2、4、5、7、8、11に分布している(第82図)。ブロック4へ集中する傾向にある。出土位置の記録されたペン先形ナイフ形石器20点中15点(75%)が、ブロック4からの出土であり、分布が偏在している。

台形様石器は、ブロック2、4、6、7、9～14に分布している(第83図)。ブロック4へ集中する傾向にある。出土位置が記録された台形様石器39点中13点(約33%)がブロック4からの出土であり、分布が偏在している。このような特徴は、ペン先形ナイフ形石器の分布と同様であるが、台形様石器は環状ブロック群の周辺部でも散漫に分布する。

サイドスクレイパーは、ブロック1、3、4、5、8、11に分布している(第83図)。特定のブロックへの集中はみられず、分布は散漫である。

エンドスクレイパーは、ブロック3、4に分布している(第83図)。環状ブロック群の中心部と考えられるブロック4と、その西側に隣接するブロック3からの出土に限られる。

ノッチは、ブロック8、11、14に分布している(第84図)。環状ブロック群の周辺部に散漫に分布するが、環状ブロック群の南半に集中する傾向にある。

鋸歯縁石器は、ブロック1、7、8、11、12に分布している(第84図)。環状ブロック群の周辺部に散漫に分布するが、ノッチと同様に環状ブロック群の南半に集中する傾向にある。

二次加工のある剥片は、ブロック1、3～5、7、8、13、14に分布している(表15)。各ブロックに散漫に分布しているが、ブロック3、4、7にやや集中する傾向にある。

石核は、全ブロックから出土している(第84図)。特定のブロックに集中する傾向はみられず、分布は散漫である。

剥片・チップは全ブロックから出土しており、出土石器全体図(第73図)にみられるように、各ブロックにより密度の濃淡がある。

以上、各器種ごとの分布の傾向をみると、ナイフ形石器・ペン先形ナイフ形石器・台形様石器がブロック4に集中する傾向にあることが分かる。特に、ペン先形ナイフのブロック4への集中は特筆すべき点である。一方で、石斧・礫器・ノッチ・鋸歯縁石器・サイドスクレイパー等は特定のブロックに集中する傾向はなく、環状ブロック群の周辺部に散漫に分布する傾向がある。エンドスクレイパーは点数が少なく詳細は不明であるが、ブロック3、4に集中している。石核・剥片・チップは全ブロックから出土しているが、各ブロックの分布密度は異なっている。

(2) 受熱のある石器 (第85図)

出土石器の中で受熱のある石器は687点あり、その内出土位置の記録のあるものは673点あった。受熱のある石器は各ブロックから出土しているもののある特定のブロックに集中している。受熱のある石器

が集中するのはブロック3、4、7であり、石器の集中する場所にほぼ重なるように受熱のある石器が集中している。このような傾向は、遺跡内での火の使用と密接にかかわる可能性があり、ブロック3、4、7で火の使用があったことが想定される。

(3)炭化物（第86図）

石器とともに炭化物片が118点出土した。これらについては出土位置を記録して取り上げている。出土した炭化物片は、出土石器のブロックと重なるものもあるが、出土石器のブロックとは異なる場所で出土している部分もある。第85図の受熱石器の分布と比較すると、ブロック3、4、7では、受熱のある石器の分布と炭化物片の分布が重なっており、この地点での火を使用した可能性が高い。

なお、ブロック3のC-1（標高30.756mで出土）、ブロック4のC-65（標高30.676mで出土）、ブロック7のC-25（標高30.708mで出土）の炭化物片を用い、¹⁴C年代測定を行った。その結果、¹⁴C年代はC-1（ブロック3出土）が29,720±130yrBP、C-65（ブロック4出土）が30,110±140yrBP、C-25（ブロック7出土）が28,080±120yrBPである。暦年較正年代（1σ）は、C-1が32,773～32,244calBCの間に二つの範囲、C-65が32,910～32,677calBCの範囲、C-25が30,662～30,001calBCの範囲に示された（付編2第2節参照）。測定した炭化物は石器集中部との重なりなどから考えて、当該石器群の年代を示す値と考えられる。

3 母岩別資料・接合資料の空間分布（第87図～103図、表17～19）

第87～103図に各母岩ごとの分布図を示した。接合関係にあるものを実線で繋げ、付近に接合番号を示してある。実線は接合資料工程図と同様で、直接的な接合関係があるものの中で、剥片剥離工程上最も近接するもの同士を繋げている。ただし、点取り以外のもの（グリッド上げのもの、点取り番号不明のもの、座標が未記載のもの）は表示しておらず、接合関係がある場合はその石器を除外し、接合関係の前後のものを実線で繋げてある。なお、接合資料の中で、垂直分布が最大のものは51.4cmの接合例があった（接合11-A-c）。このような石器の接合関係の工程表を第104～110図に全点示した。

母岩1（第87図）

母岩1は、平面分布ではブロック1、3、4、6～10、14に分布する。ブロック8と9での分布が多い。また、接合資料1-Aはブロック8、9間を中心に接合しており、この周辺で剥片剥離が連続的に行われた可能性が高い。垂直分布では、最大42.8cmの接合が確認できる。

母岩2（第87図）

母岩2は、平面分布ではブロック1～5、7～9、11、14に分布する。ブロック7での分布が多い。接合資料2-Aは、ブロック7に集中しており、この周辺で剥片剥離が連続的に行われた可能性が高い。垂直分布では、最大42cmの接合が確認できる。

母岩3（第88図）

母岩3は、平面分布ではブロック1～5、7、12、13に分布する。ブロック7での分布が多い。特に接合資料3-A・D・F・G・H・Kはブロック7内での接合関係である。その一方で、接合資料3-Bはブロック1内で、3-Cはブロック5内での接合関係がみられる。垂直分布では、最大28.8cmの接合が確認できる。

母岩4（第88図）

母岩4は、平面分布ではブロック1、2、4、6、9～12に分布する。接合資料4-Aはブロック10

～12で接合関係があり、この周辺で剥片剥離を行っている。垂直分布では、最大39.6cmの接合が確認できる。

母岩5 (第89図)

母岩5は、平面分布ではブロック1、4、6に分布する。接合資料5-A・Bはブロック1、4での接合関係がある。垂直分布では、最大39.2cmの接合が確認できる。

母岩6 (第89図)

母岩6は、平面分布ではブロック2～5、7、9～12に分布する。ブロック7と11での分布が多い。また、接合資料でもブロック7と11の各ブロック内での接合例が多くみられる。垂直分布では、最大28.6cmの接合が確認できる。

母岩7 (第90図)

母岩7は、平面分布ではブロック4、8、13、14に分布する。ブロック14での分布が多い。接合資料7-Aでもブロック14での接合例が多い。垂直分布では、最大29.3cmの接合が確認できる。

母岩8 (第90図)

母岩8は、平面分布ではブロック1～5、7、8、10、11に分布する。ブロック1での分布が多い。接合資料8-A・Bでもブロック1での分布が多い。垂直分布では、最大36.6cmの接合が確認できる。

母岩9 (第91図)

母岩9は、平面分布ではブロック1、3に分布する。接合資料9-Aでもブロック1、3で接合関係がみられる。垂直分布では、最大47.4cmの接合が確認できる。

母岩10 (第91図)

母岩10は、平面分布ではブロック1～4に分布する。ブロック1での分布が多い。また、接合資料10-Aでは、ブロック1、3での接合関係がみられ、大半はブロック1での接合関係である。この周辺で連続的に剥片剥離を行っている可能性が高い。垂直分布では、最大46.0cmの接合が確認できる。

母岩11 (第92図)

母岩11は、平面分布ではブロック1～4、6～10に分布する。ブロック4での分布が多い。また、接合資料では、11-A-aではブロック9、8、14で、11-A-bではブロック4、7で、11-A-cでは主にブロック4で、11-A-dではブロック2で接合関係がみられる。分割された後に、それぞれ異なる場所で剥片剥離が行われていることが分かる。集中的に剥片剥離を行っているのは、接合資料11-A-cが多く分布するブロック4である。垂直分布では、最大51.4cmの接合が確認できる。

母岩12 (第92図)

母岩12は、ブロック1～7、11～14に分布する。ブロック3、4での分布が多い。接合資料では、12-Aがブロック6で、12-Cがブロック4で、12-D～Hがブロック3に集中する。主たる剥片剥離は、ブロック3で行われていると考えられる。垂直分布では、最大39.1cmの接合が確認できる。

母岩13 (第93図)

母岩13は、ブロック1～5、7～9、11～13に分布する。ブロック4、7での分布が多い。接合資料では、13-Cがブロック4で、13-E・Fがブロック7で連続的な剥片剥離を行い、そのまま遺棄されている。鋸歯縁石器の加工を行う13-Gはブロック11に分布する。垂直分布では、最大42.5cmの接合が確認できる。

母岩14 (第93図)

母岩14は、ブロック2～4、7～9、11、13、14に分布する。ブロック14での分布が多い。接合資料では、14-Aはブロック14を中心に分布しており、連続的に剥片剥離を行い、そのまま遺棄されている。一方、ブロック2、3、7、8の離れた場所に数点分布している。接合資料14-B・Cはブロック14に分布している。垂直分布では、最大45.2cmの接合が確認できる。

母岩15 (第94図)

母岩15は、ブロック1～4、7～12に分布する。ブロック3での分布が多い。接合資料では、15-A・Bではブロック3で連続的に剥片剥離を行い、そのまま遺棄されている。15-Cでは2個体に分割されるが、15-C-aはブロック2と4、15-C-bはブロック10と11に分布しており、分割後に異なる地点で剥片剥離を行っている。垂直分布では、最大41.7cmの接合が確認できる。

母岩16 (第94図)

母岩16は、ブロック1～8、ブロック11～14に分布する。調査区全体に分布しているが、ブロック1、2に比較的集中している。連続的な剥片剥離を行っている接合資料16-A・B・Cであるが、剥離後に異なる地点に移動している。垂直分布では、最大27.7cmの接合が確認できる。

母岩17 (第95図)

母岩17は、ブロック1、3、4、6、7、10～12に分布する。ブロック3、ブロック10周辺での分布が多い。接合資料17-Aでは、ブロック10周辺で剥片剥離を行い、そのまま遺棄されている。垂直分布では、最大30.1cmの接合が確認できる。

母岩18 (第95図)

母岩18は、ブロック2、3、11に分布する。ブロック11での分布が多い。接合資料18-Aでは、ブロック11内で接合しており、連続的に剥片剥離を行い、そのまま遺棄されている。垂直分布では、最大16.0cmの接合が確認できる。

母岩19 (第96図)

母岩19は、ブロック2、4、13、14に分布する。ブロック2での分布が多い。接合資料19-Aでは、ブロック2に多く分布しており、連続的に剥片剥離を行い、そのまま遺棄されている。垂直分布では、最大26.1cmの接合が確認できる。

母岩20 (第96図)

母岩20は、ブロック1、6、7、9、11、12に分布する。ブロック1での分布が多い。接合資料20-Aでは、ブロック1に多く分布しており、連続的に剥片剥離を行い、その場に大半が遺棄されるが、ブロック9や12の遠隔地での接合がみられる。垂直分布では、最大35.9cmの接合が確認できる。

母岩21 (第97図)

母岩21は、ブロック1、3～5、7、9、13に分布する。ブロック7での分布が多い。接合資料20-A・Bでは、ブロック7に分布しており、連続的に剥片剥離を行い、そのまま遺棄されている。垂直分布では、最大23.0cmの接合が確認できる。

母岩22 (第97図)

母岩22は、ブロック1～9、11～14に分布する。調査区全体に分布するが、ブロック4にやや集中する。接合資料22-Aでは、ブロック4と7で接合しており、剥離後に移動している可能性が高い。その他の接合資料でも、離れたブロック間での接合が多い。垂直分布では最大35.3cmの接合が確認できる。

母岩23 (第98図)

母岩23は、ブロック1～4、7、9～11、13、14に分布する。接合資料23-A・Bは離れたブロック間での接合で、23-Cはブロック11で接合関係がみられる。垂直分布では、最大11.5cmの接合が確認できる。

母岩24 (第98図)

母岩24は、ブロック1、3～5、8～11に分布する。ブロック4での分布が多い。接合資料24-A～Cはブロック4での接合関係が多い。垂直分布では、最大36.0cmの接合が確認できる。

母岩25 (第99図)

母岩25は、ブロック1～6、8、10、11、13に分布する。ブロック3と13での分布が多い。接合資料25-A～Cはブロック3、4での接合関係が多い。垂直分布では、最大19.8cmの接合が確認できる。

母岩26 (第99図)

母岩26は、ブロック1、8、11、13に分布する。ブロック13での分布が多い。接合資料26-A・Bはブロック13での接合関係がみられる。垂直分布では、最大31.0cmの接合が確認できる。

母岩27 (第100図)

母岩27は、ブロック1、3、4、6、7、9～11、13、14に分布する。ブロック7での分布が多い。接合資料は離れたブロック間での接合関係が多い。垂直分布では、最大30.7cmの接合が確認できる。

母岩28 (第100図)

母岩28は、ブロック1～4、6～9、13に分布する。ブロック2、4、7での分布が比較的多い。接合資料28-Aはブロック2に、28-Bはブロック7、8、28-Cはブロック4での接合関係がみられる。垂直分布では、最大28.8cmの接合が確認できる。

母岩29 (第101図)

母岩29は、ブロック1、2、4～6、11～13に分布する。ブロック4での分布が多い。接合資料29-A・B・Cは、ブロック4での接合関係が多い。垂直分布では、最大24.7cmの接合が確認できる。

母岩30 (第101図)

母岩30は、ブロック2～4、7～9、14に分布する。ブロック4での分布が多い。接合資料30-A・Bは、ブロック3、4での接合関係が多い。垂直分布では、最大33.9cmの接合が確認できる。

母岩31 (第102図)

母岩31は、ブロック1、2、4、6～9、11に分布する。ブロック4での分布が多い。接合資料31-Aはブロック4での接合である。垂直分布では、最大17.1cmの接合が確認できる。

母岩32

母岩32は、ブロック2、11に分布する。当該母岩からは接合資料は得られていない。

母岩33 (第102図)

母岩33は、ブロック3に分布する。接合資料33-Aは、ブロック3での接合である。垂直分布では、2.8cmの接合が確認できる。

母岩34 (第103図)

母岩34は、ブロック3に分布する。接合資料34-Aは、ブロック3での接合である。垂直分布では、1.1cmの接合が確認できる。

母岩35 (第103図)

母岩35は、ブロック1、4、7に分布する。接合資料35-Aはブロック7での接合である。接合資料35-Aはハンマーストーンと考えられる礫器(第28図4、第71図11、12)であり、この周辺でハンマーストーンが破損しており、剥片剥離が行われた場所であると考えられる。垂直分布では、最大18.8cmの接合が確認できる。

以上のような接合資料を全点図示すると、前述したように第74図となる。各ブロック間において接合関係がみられ、各ブロックで剥片剥離を行っており、ブロック間での頻繁な石器の移動がみられる。また、ブロック1~14の全てのブロック間で接合関係の組み合わせがみられ、14箇所のブロックは一定の時間的同時性を保持しているものと考えられる。

表17 ブロック別母岩別資料組成

Table.17. Assemblage of nodule groups by concentrated area.

母岩No.	BL1	BL2	BL3	BL4	BL5	BL6	BL7	BL8	BL9	BL10	BL11	BL12	BL13	BL14	不明	合計
母岩1	2		1	6		4	1	19	11	1				4	1	50
母岩2	1	1	1	10	2		55	4	1		2			1	5	83
母岩3	15	1	1	2	8		83					1	1		1	113
母岩4	3	1		4		1			2	9	7	3			1	31
母岩5	5			7		1										13
母岩6		14	2	18	1		37		1	2	41	3			4	123
母岩7				1				2					3	16		22
母岩8	15	7	1	3	1		1	1		1	3				1	34
母岩9	2		6													8
母岩10	28	1	2	2												33
母岩11	1	5	1	22		2	5	1	2	2				2	1	44
母岩12	6	2	52	32	1	7	17	1	1		4	1	2	1	1	126
母岩13	10	6	4	30	1		16	1	1		5	2	1		1	78
母岩14		2	3	2			8	5	4		1		3	43	4	75
母岩15	2	1	47	5			2	2	1	3	1	1				65
母岩16	15	16	5	2	2	8	1	2			1	2	2	1	2	59
母岩17	1		16	5		1	3			9	6	1			3	45
母岩18		1	1								8					10
母岩19		7		1									1	2		11
母岩20	14					2	1		1		1	3				22
母岩21	1		1	4	2		18		1				3		1	31
母岩22	4	1	10	20	10	4	9	3	2		1	1	14	2	1	82
母岩23	1	13	1	3			2		1	1	7		1	1		31
母岩24	8		3	45	11			1	2	2	2			1	3	78
母岩25	3	1	28	6	1	2		2		1	1		19		2	66
母岩26	1							1			2		8			12
母岩27	3		1	6		7	17		3	6	5		2	6	1	57
母岩28	2	11	2	8		2	9	2	4				4		1	45
母岩29	2	3		13	1	1					2	3	1		2	28
母岩30		1	3	13			1	1	4					3		26
母岩31	2	1		6		1	1	1	3		1					16
母岩32		3									6					9
母岩33			4													4
母岩34			4													4
母岩35	1			2			8									11
合計	148	99	200	278	41	43	295	48	44	37	107	21	65	83	36	1,545

表18 ブロック別接合資料組成(1)

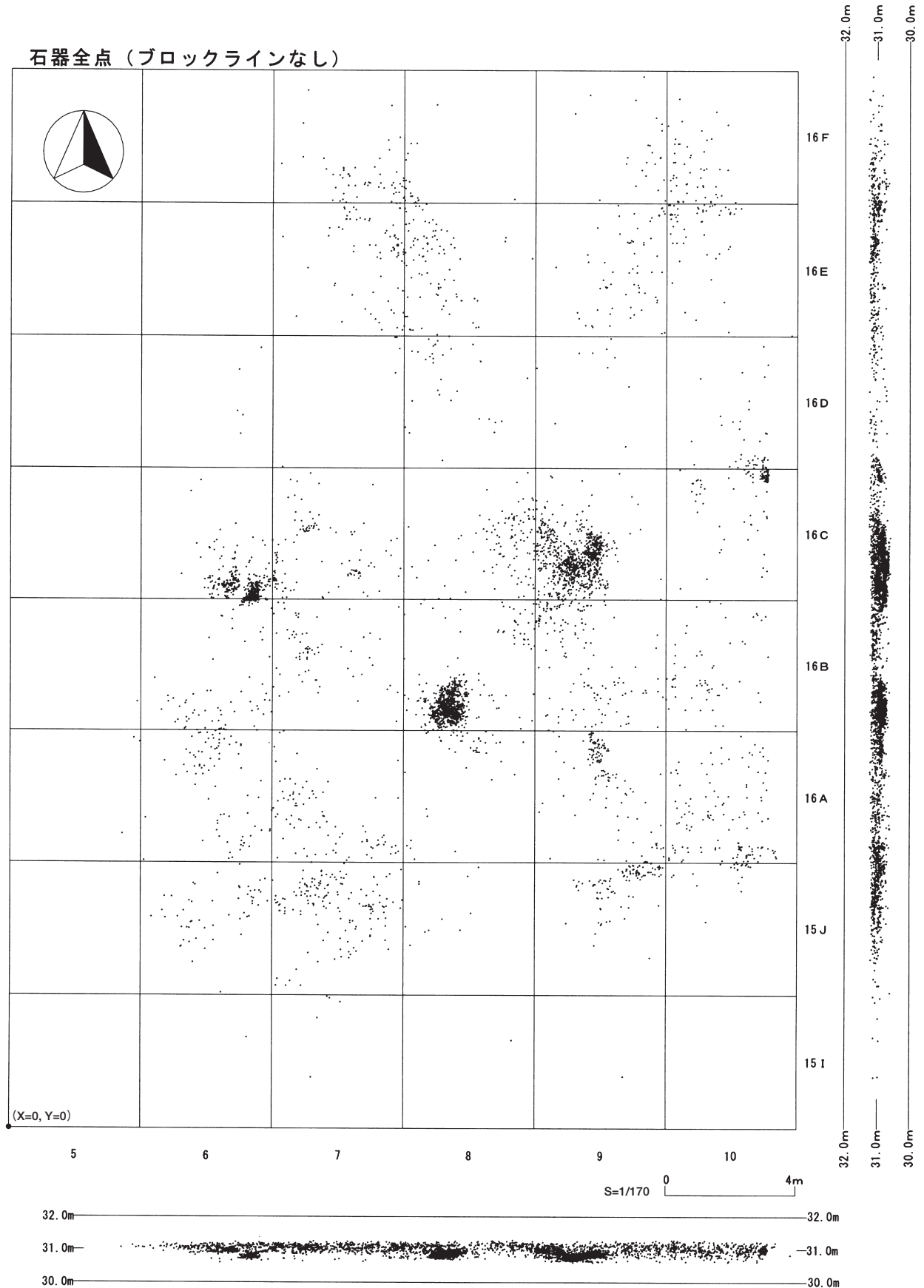
Table.18. Assemblage of refitted stone tools by concentrated area(1).

接合No.	BL1	BL2	BL3	BL4	BL5	BL6	BL7	BL8	BL9	BL10	BL11	BL12	BL13	BL14	不明	合計
1-A	1		1	2				10	11							25
1-B						2										2
1-C								1						1		2
1-D						2										2
2-A-a							20								3	23
2-A-b							5								1	6
2-A-c			1				1	4	1							7
2-B				4												4
2-C							1				1				1	3
2-D							2									2
2-E							2									2
2-F	1			1												2
2-G							2									2
2-H							2									2
2-I							2									2
3-A							12									12
3-B	6															6
3-C					4											4
3-D							7									7
3-E	2															2
3-F							6									6
3-G							3									3
3-H							2									2
3-I			1				2									3
3-J							2									2
3-K							3									3
4-A		1				1				7	6	2			1	18
4-B									2							2
5-A	1			2												3
5-B	4			1												5
6-A											2	1				3
6-B				1			6					1				8
6-C											3					3
6-D											2				1	3
6-E											3					3
6-F							4									4
6-G											1				1	2
6-H		2														2
6-I							2									2
6-J				2												2
6-K											2					2
7-A				1				1								2
7-A-a													2	6		8
7-A-b								1						4		5
8-A	8	2													1	11
8-B	3															3
9-A	2		5													7
10-A	24		2													26
11-A-a								1	2					2		5
11-A-b				1			5								1	7
11-A-c				20						1						21
11-A-d		2														2
11-B						1				1						2
12-A						2										2
12-B			3				1									4
12-C				9												9
12-D			10	1												11
12-E			4													4
12-F			5													5
12-G			4													4
12-H			2													2
12-I	1		1													2
13-A		5	1													6
13-B			1					1								2
13-C				12												12
13-D	2		2	7								1			1	13
13-E							3									3
13-F							4									4
13-G											4					4
14-A		1	2				1	3					2	17	2	28

表19 ブロック別接合資料組成(2)

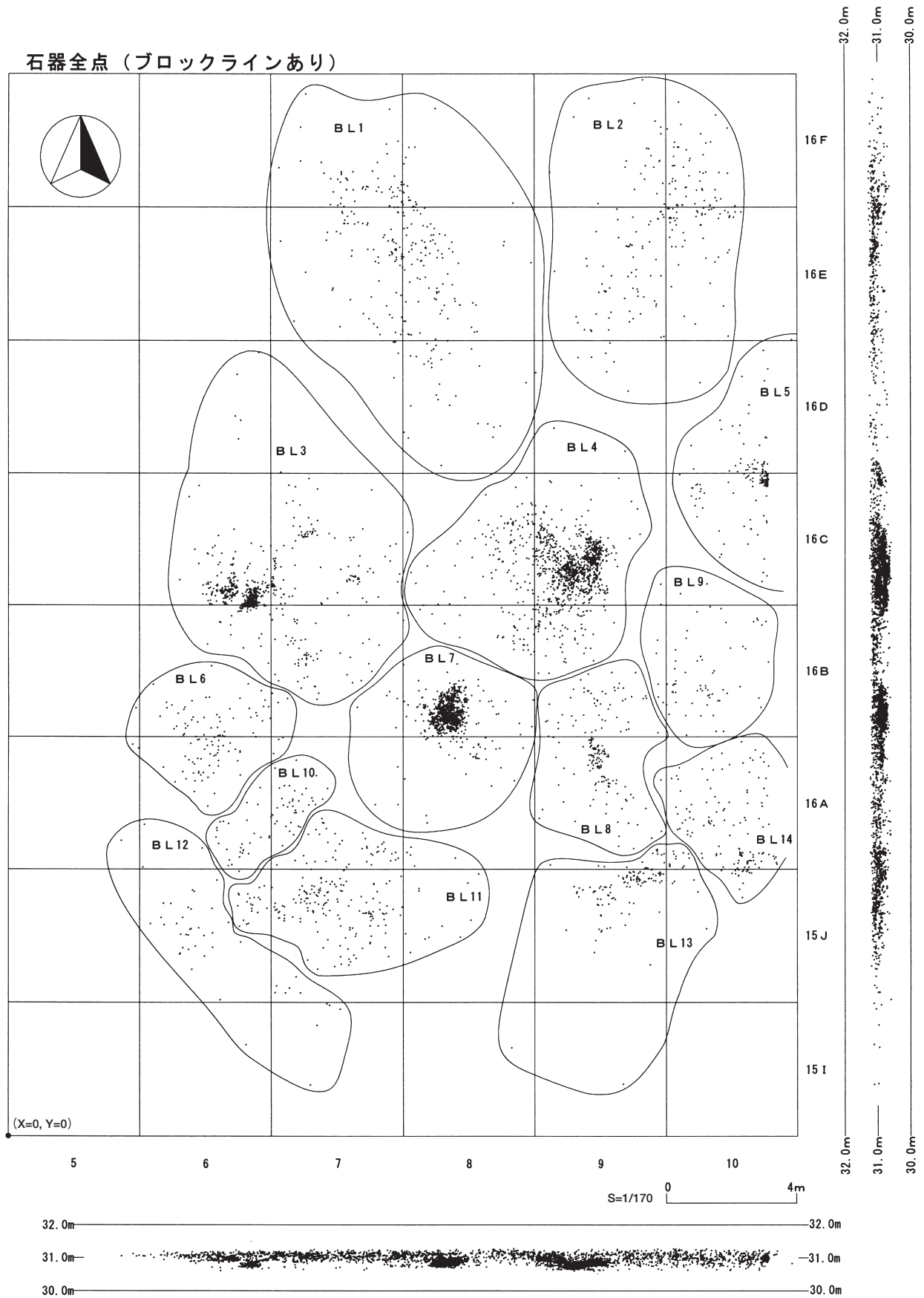
Table.19. Assemblage of refitted stone tools by concentrated area(2).

接合No.	BL1	BL2	BL3	BL4	BL5	BL6	BL7	BL8	BL9	BL10	BL11	BL12	BL13	BL14	不明	合計
14-B														6		6
14-C														2		2
15-A	1		13	3					1							18
15-B			11													11
15-C-a		1		2												3
15-C-b										3	1					4
15-D			1					1								2
15-E			2													2
16-A		4		1	1		1									7
16-B	3	3														6
16-C			1			3						1	1		1	7
16-D								2						1		3
16-E	2															2
16-F			2													2
17-A						1				9	4	1			2	17
17-B			5	1												6
17-C				3												3
17-D			2	1												3
18-A											4					4
19-A		5		1												6
20-A	12								1			3				16
20-B							1				1					2
21-A							6								1	7
21-B							4									4
22-A				4			1									5
22-B	1		4													5
22-C			1	1												2
22-D			2						1							3
22-E					1		2									3
22-F													2			2
22-G					2											2
22-H				2												2
22-I													2			2
23-A		2	1													3
23-B-a		1		1												2
23-B-b		3														3
23-C											3					3
24-A				3	4				1							8
24-B				4												4
24-C				2												2
24-D	2															2
24-E				1											1	2
25-A			4													4
25-B			5													5
25-C			1	3				1					1			6
25-D										1			2			3
26-A													5			5
26-B													2			2
26-C								1					1			2
27-A							3			2	1				1	7
27-B						4										4
27-C									3					2		5
27-D						2										2
28-A		5														5
28-B							1	1								2
28-C				2												2
29-A				2												2
29-B				2												2
29-C				2												2
29-D		1		1												2
30-A				3												3
30-B				2												2
30-C			2													2
30-D			1	1												2
31-A				2												2
33-A			2													2
34-A			2													2
35-A							7									7
合計	76	38	107	114	12	18	126	28	23	24	38	10	20	41	19	694



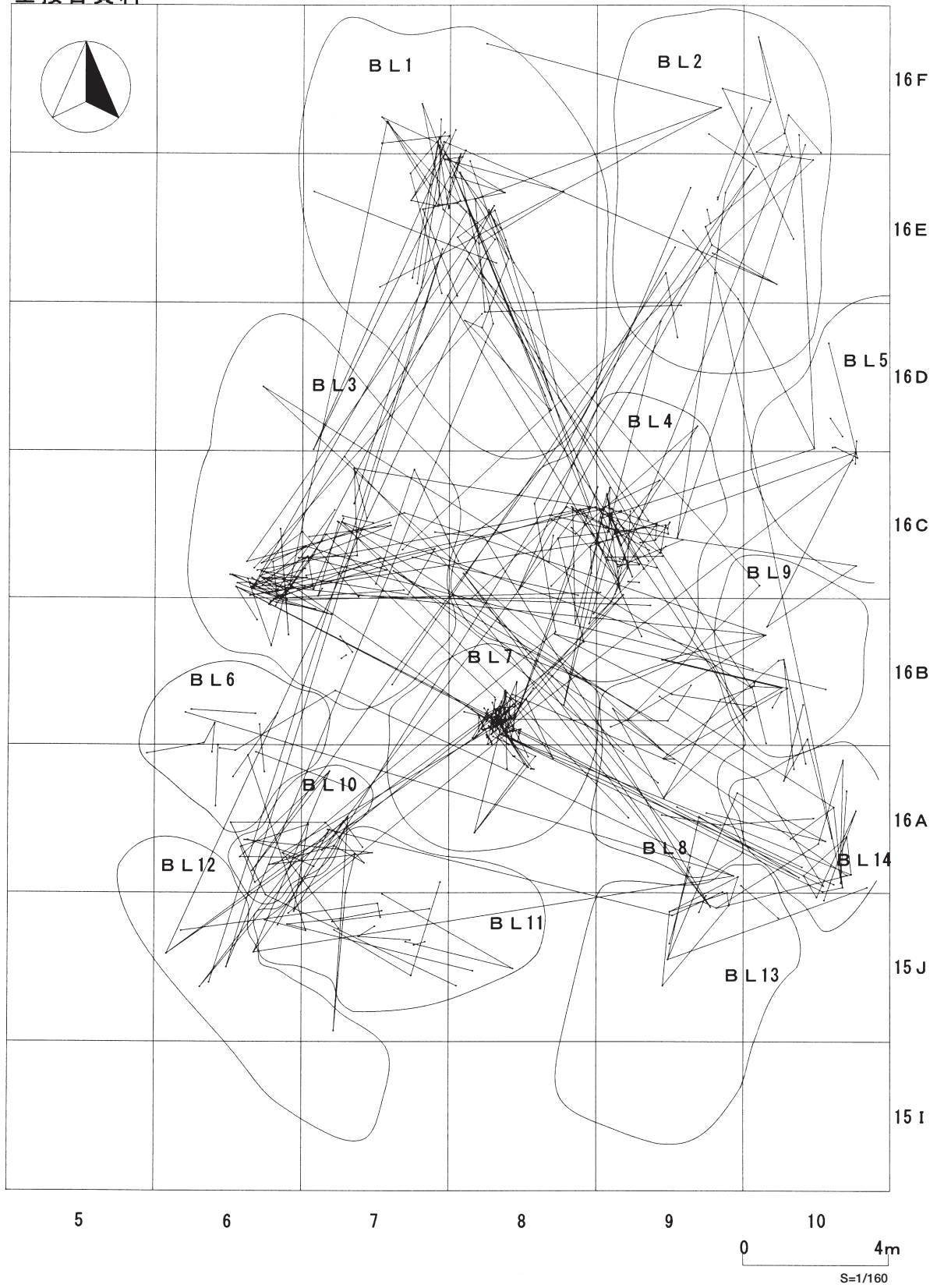
第72図 地蔵田遺跡出土 石器の平面・垂直分布図 (ブロックラインなし)

Fig.72. Distribution of lithic artifacts at the Jizouden Site.



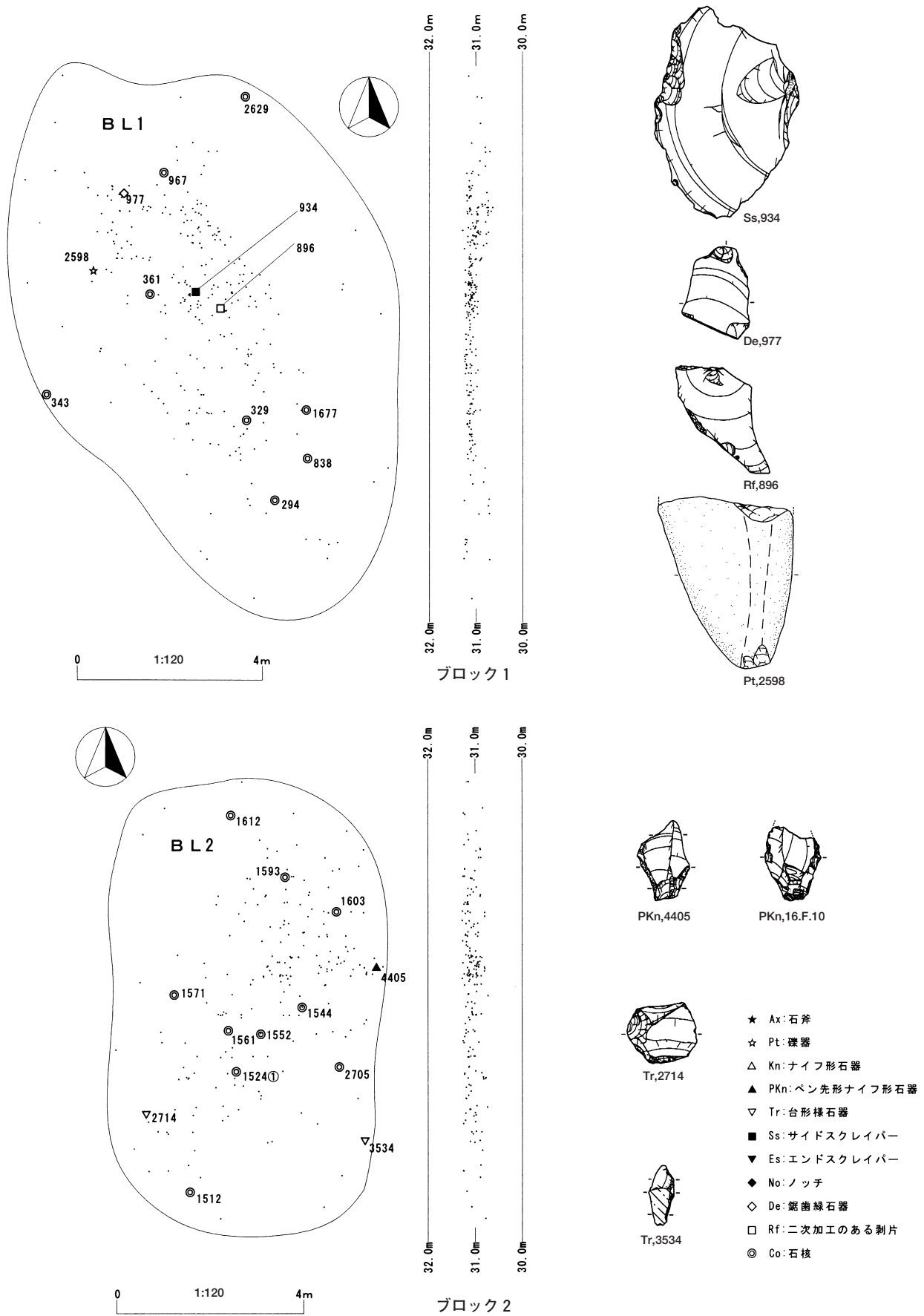
第73図 地蔵田遺跡出土 石器の平面・垂直分布図 (ブロックラインあり)
 Fig.73. Distribution of lithic artifacts at the Jizouden Site.

全接合資料



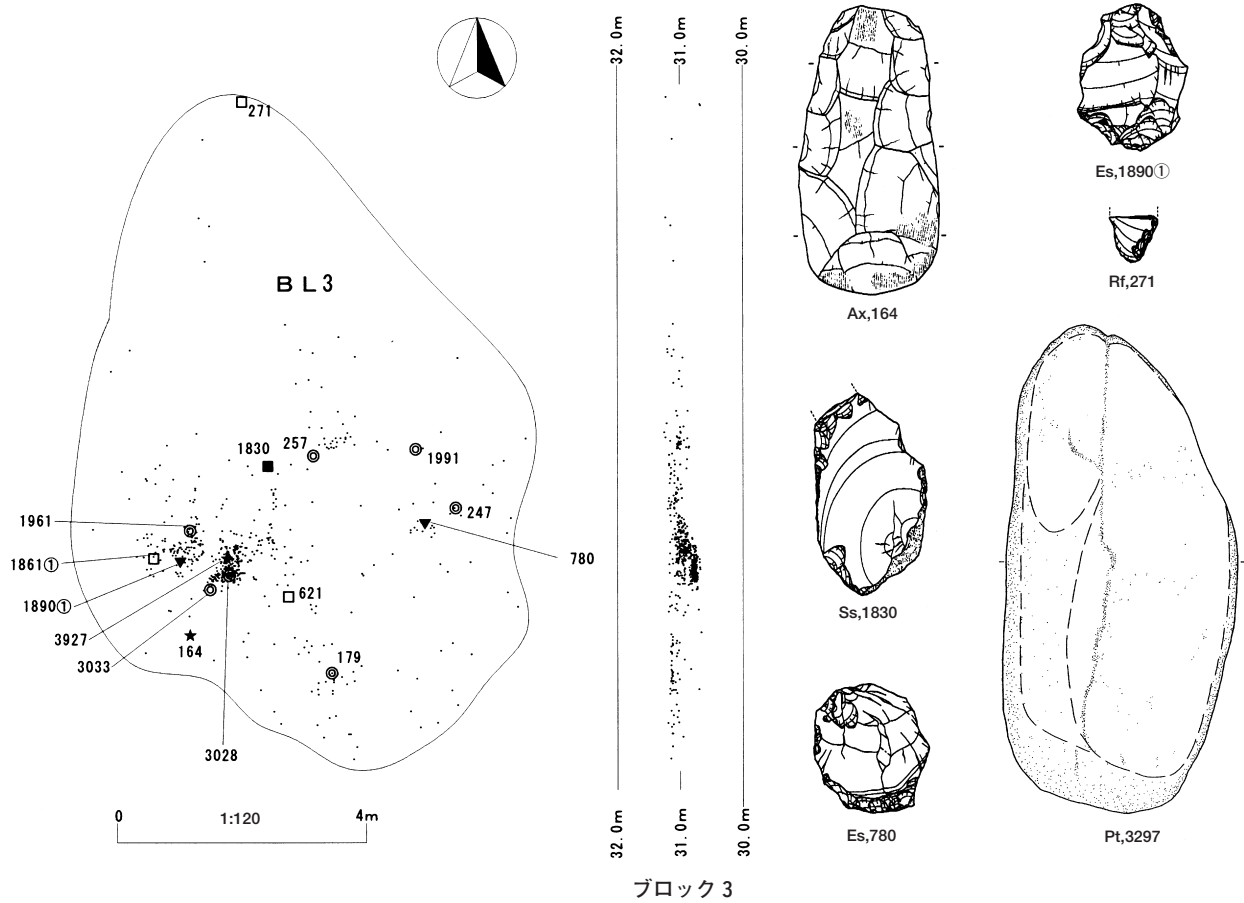
第74図 地蔵田遺跡出土 全接合資料の分布

Fig.74. Distribution of all refitted stone tools at the Jizouden Site.



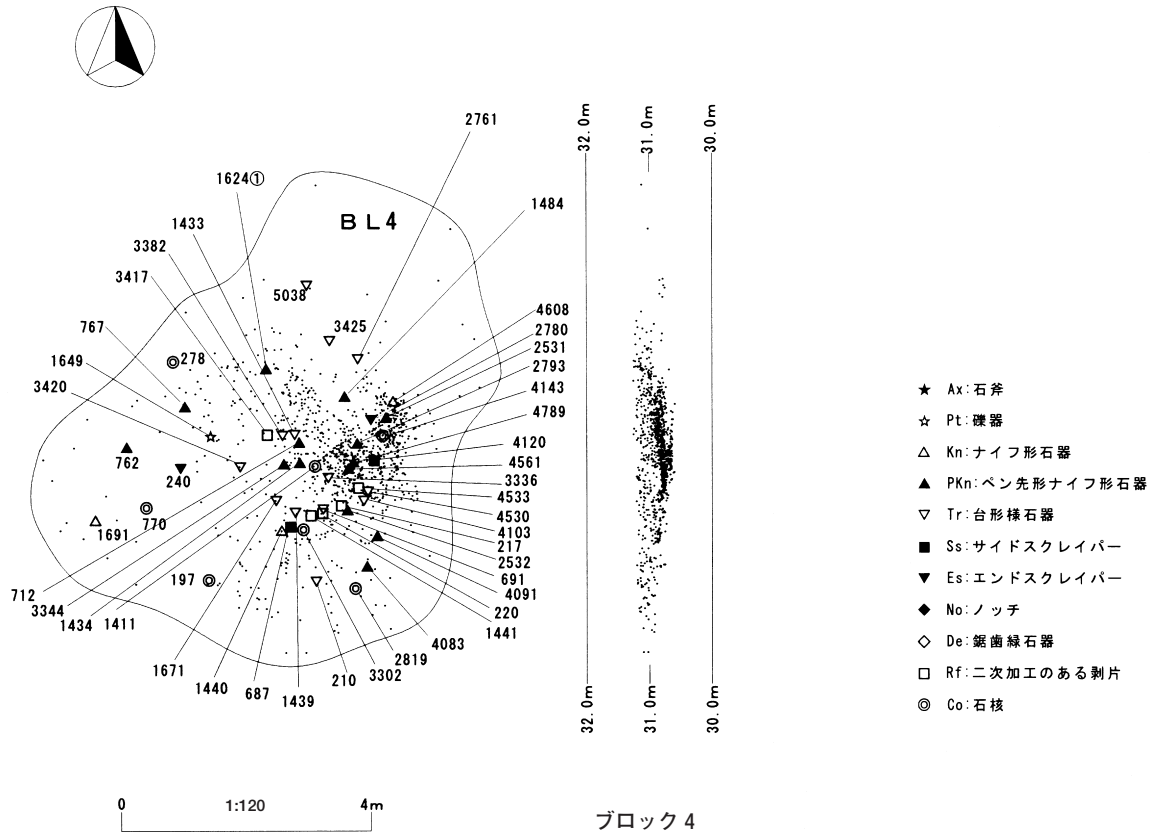
第75図 地蔵田遺跡出土 ブロック1、2の分布

Fig.75. Distribution of lithic artifacts concentration (Block 1 and 2) at the Jizouden Site.

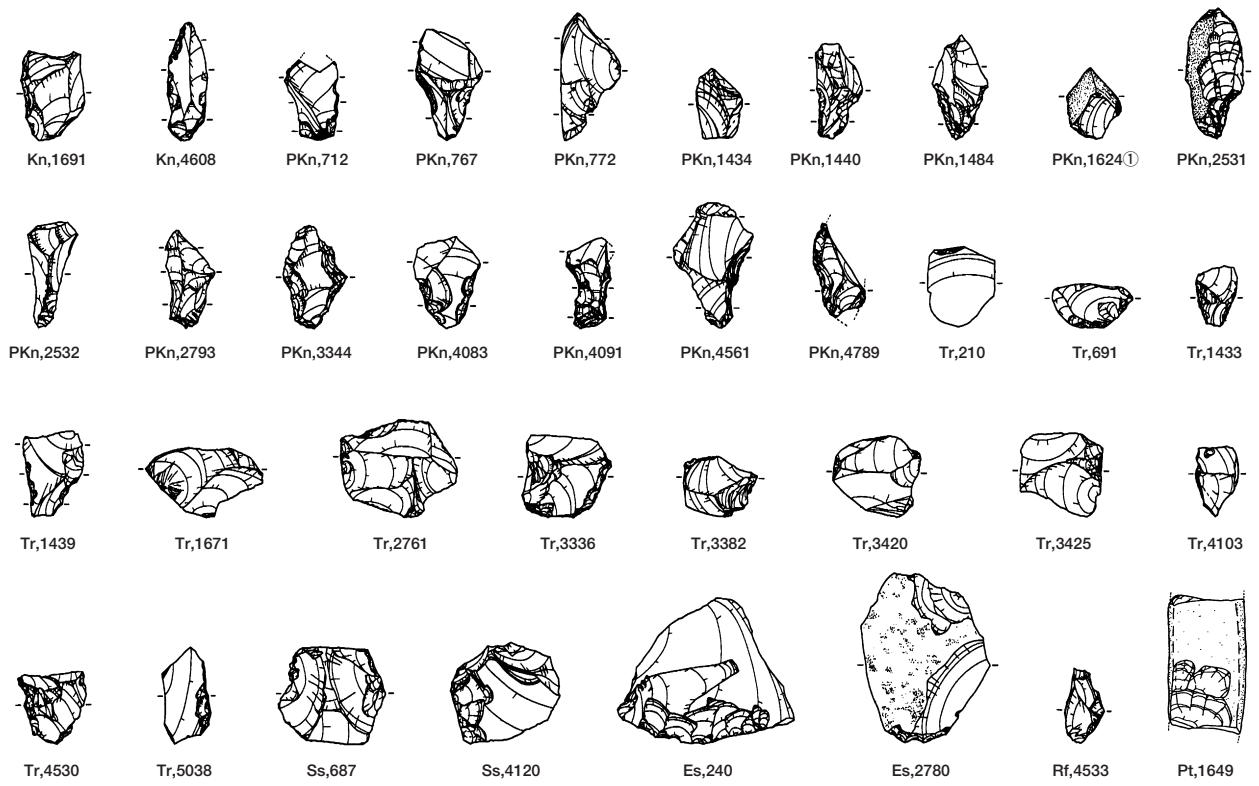


第76図 地蔵田遺跡出土 ブロック 3、5 の分布

Fig.76. Distribution of lithic artifacts concentration (Block 3 and 5) at the Jizouden Site.

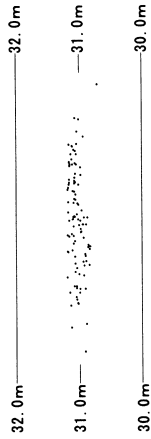
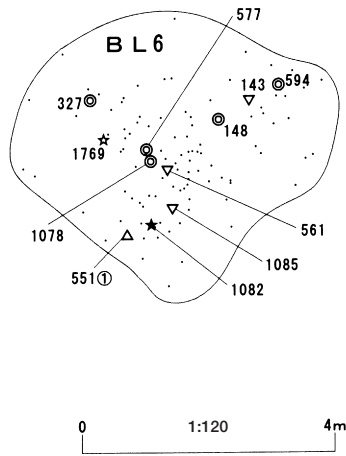


ブロック4



第77図 地蔵田遺跡出土 ブロック4の分布

Fig.77. Distribution of lithic artifacts concentration (Block4) at the Jizouden Site.



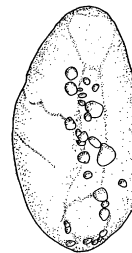
ブロック 6



Ax,1082



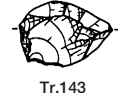
Tr,1085



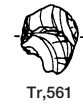
Pt,1769



Kn,551①

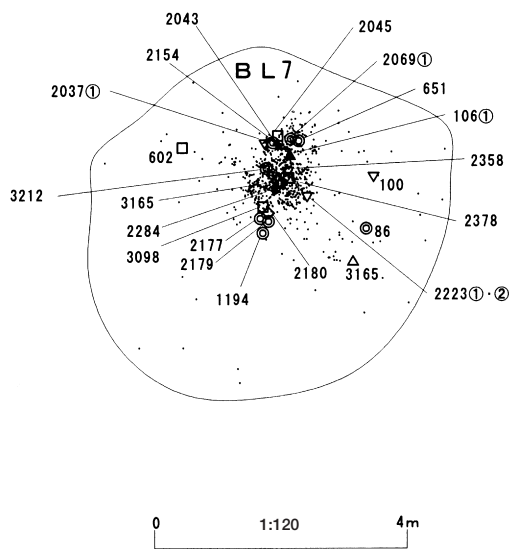


Tr,143

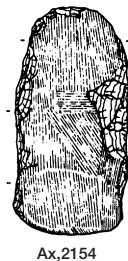


Tr,561

- ★ Ax:石斧
- ☆ Pt:磔器
- △ Kn:ナイフ形石器
- ▲ Pkn:ベン先形ナイフ形石器
- ▽ Tr:台形様石器
- Ss:サイドスクレイパー
- ▼ Es:エンドスクレイパー
- ◆ No:ノッチ
- ◇ De:鋸歯縁石器
- Rf:二次加工のある剥片
- ◎ Co:石核



ブロック 7



Ax,2154



Tr,2358



Rf,2045



Kn,3165



Tr,2037①



De,2180



Rf,3098



Pkn,106①



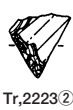
Tr,2223①



Rf,602



Tr,100



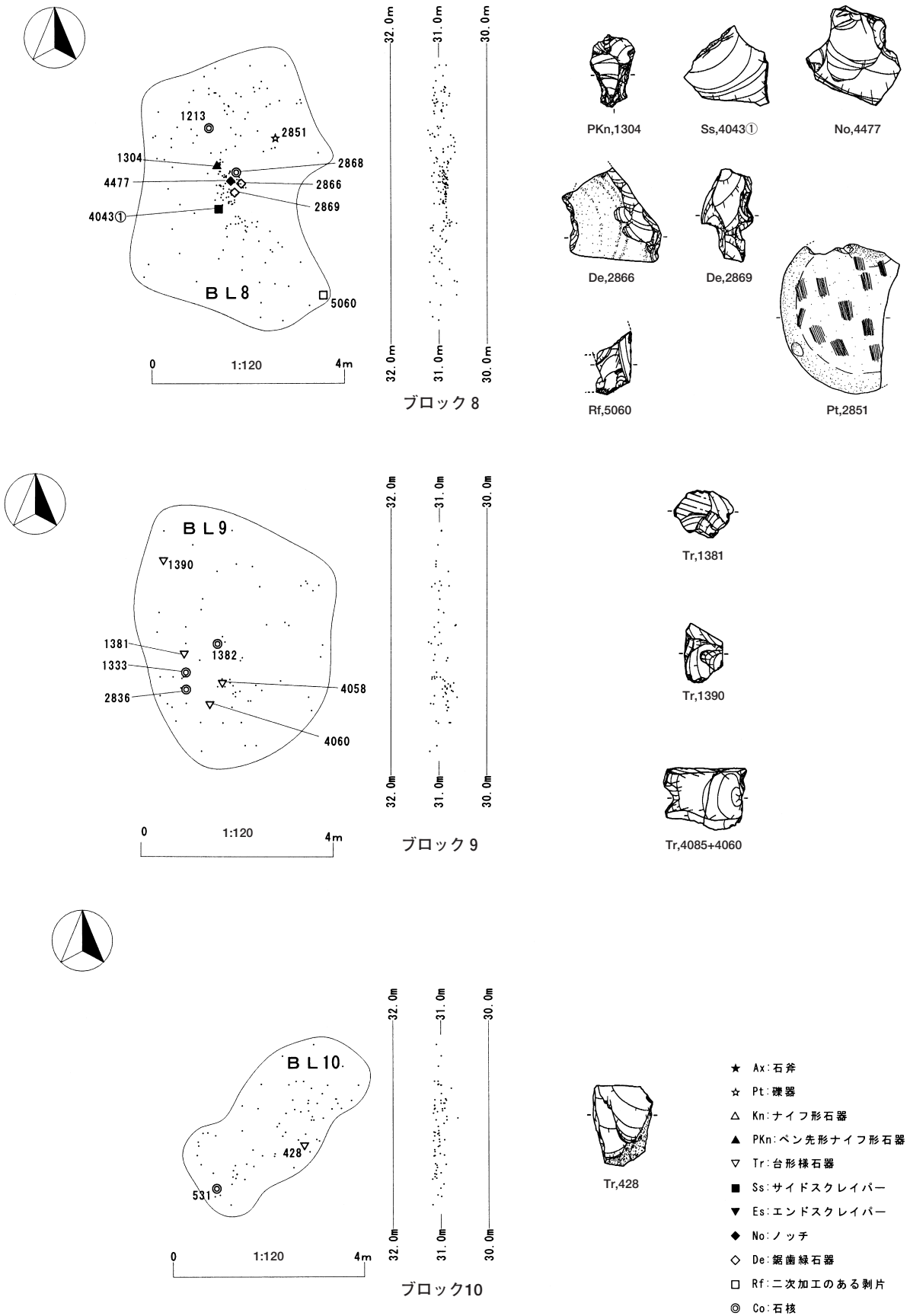
Tr,2223②



Pt,2284

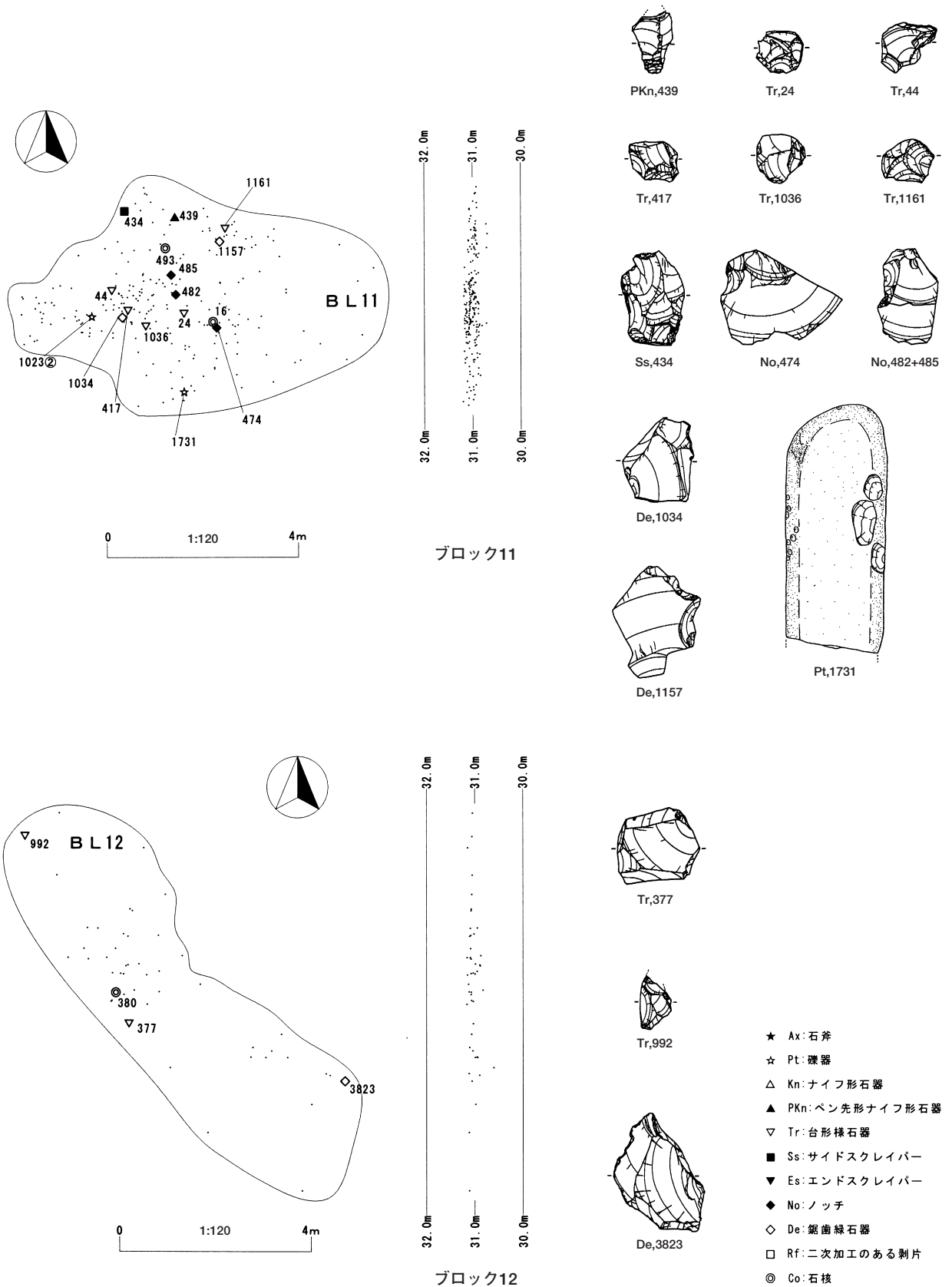
第78図 地蔵田遺跡出土 ブロック 6、7 の分布

Fig.78. Distribution of lithic artifacts concentration (Block 6 and 7) at the Jizouden Site.



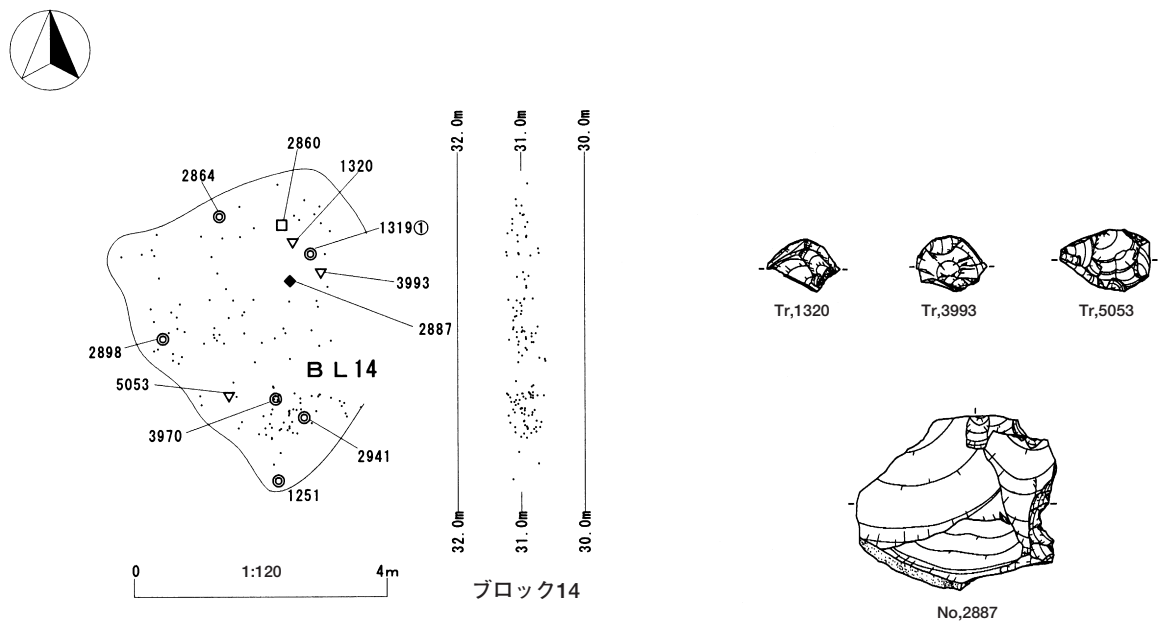
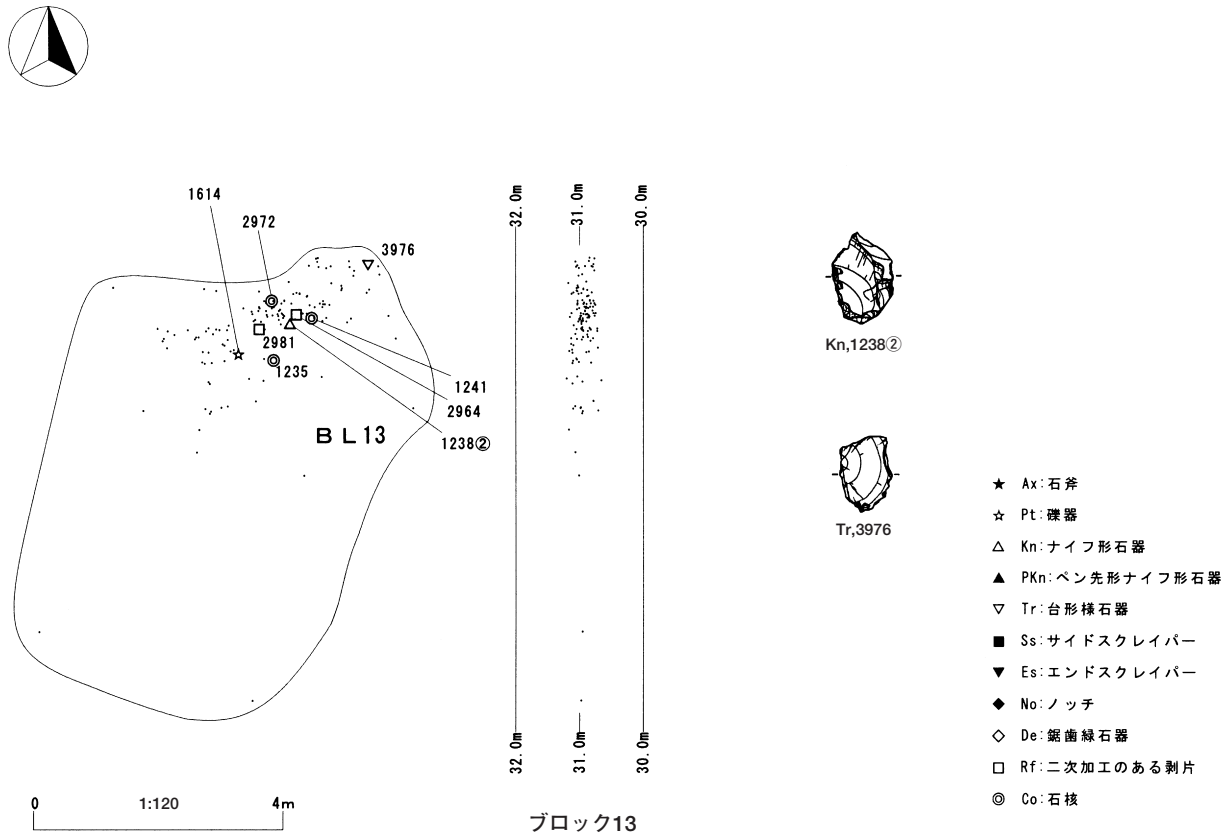
第79図 地蔵田遺跡出土 ブロック 8、9、10の分布

Fig.79. Distribution of lithic artifacts concentration (Block 8, 9, and 10) at the Jizouden Site.



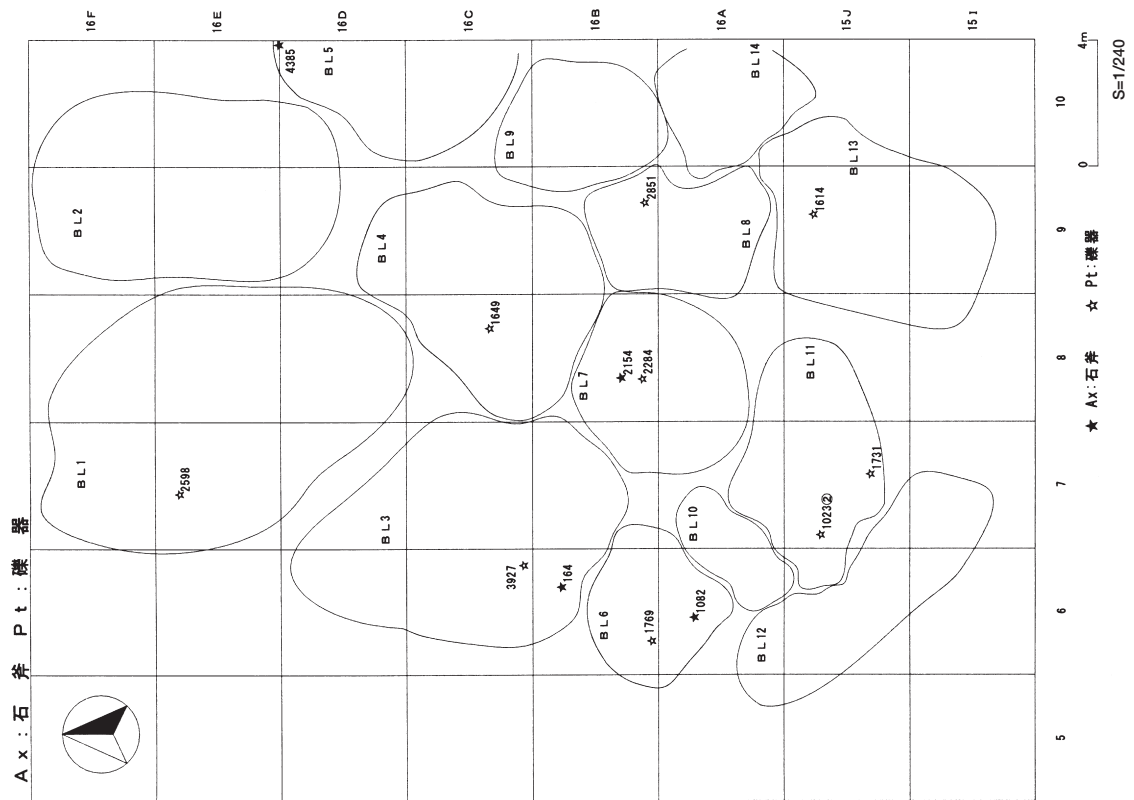
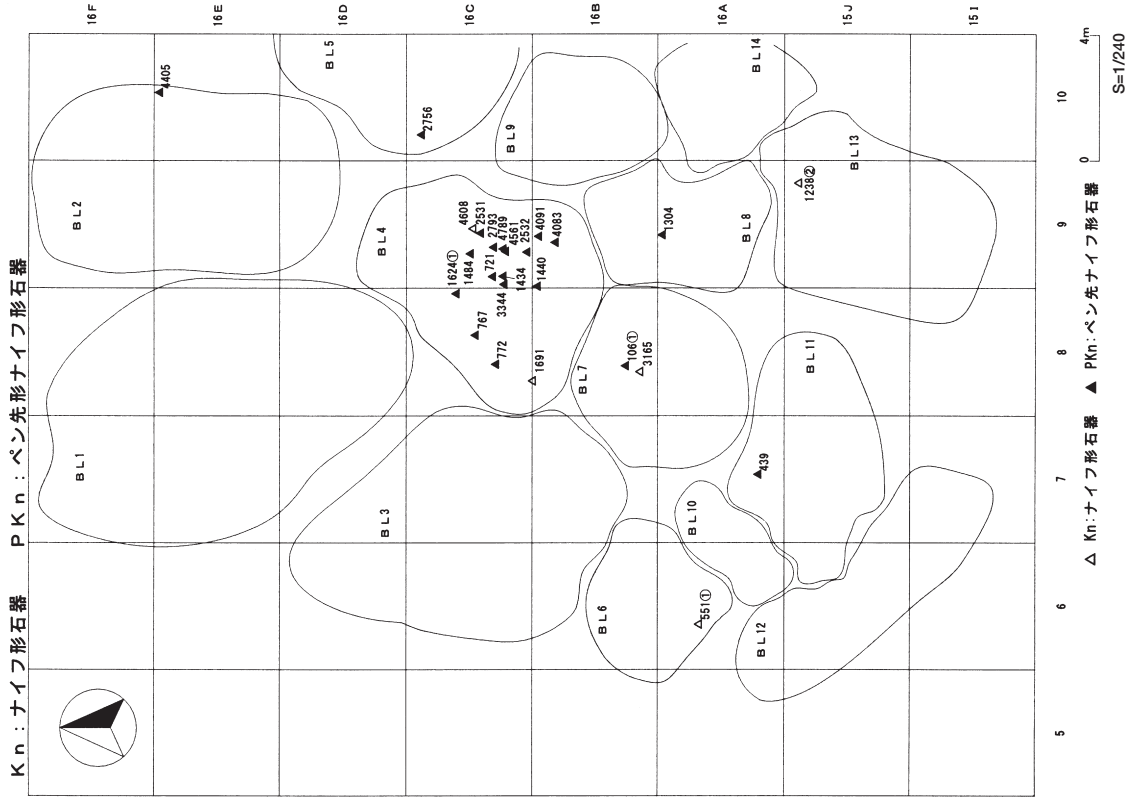
第80図 地蔵田遺跡出土 ブロック11、12の分布

Fig.80. Distribution of lithic artifacts concentration (Block 11 and 12) at the Jizouden Site.



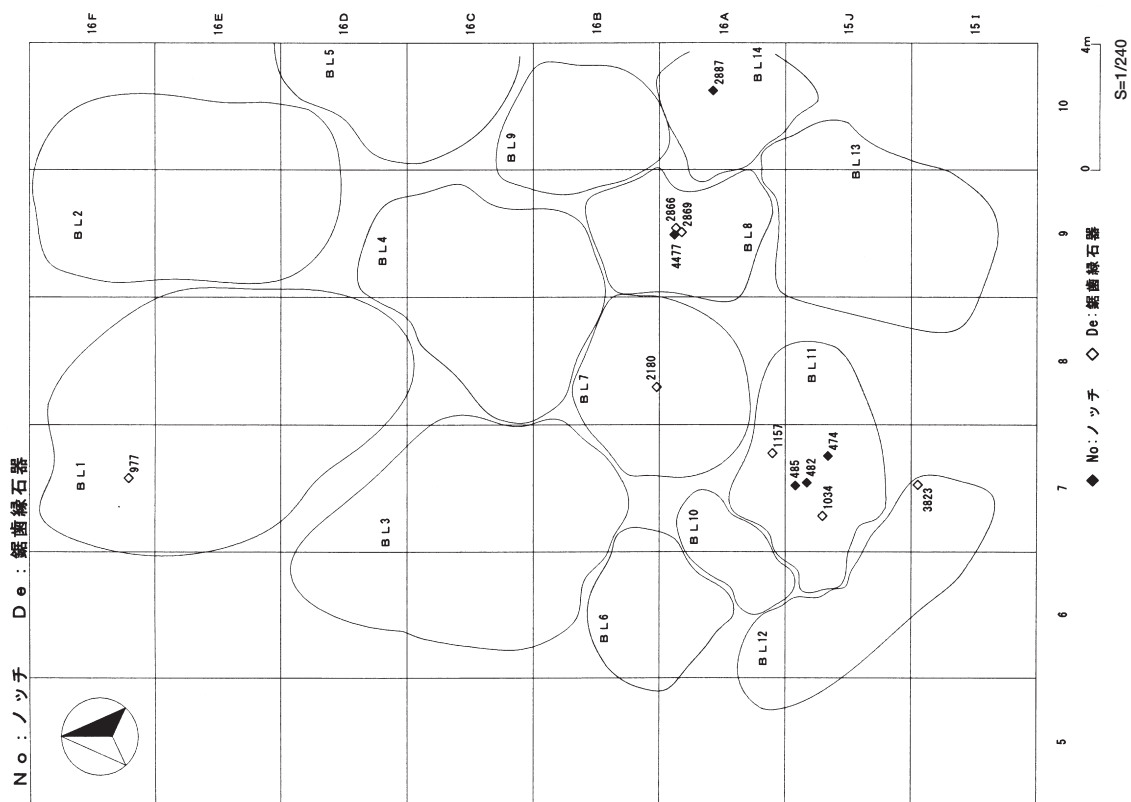
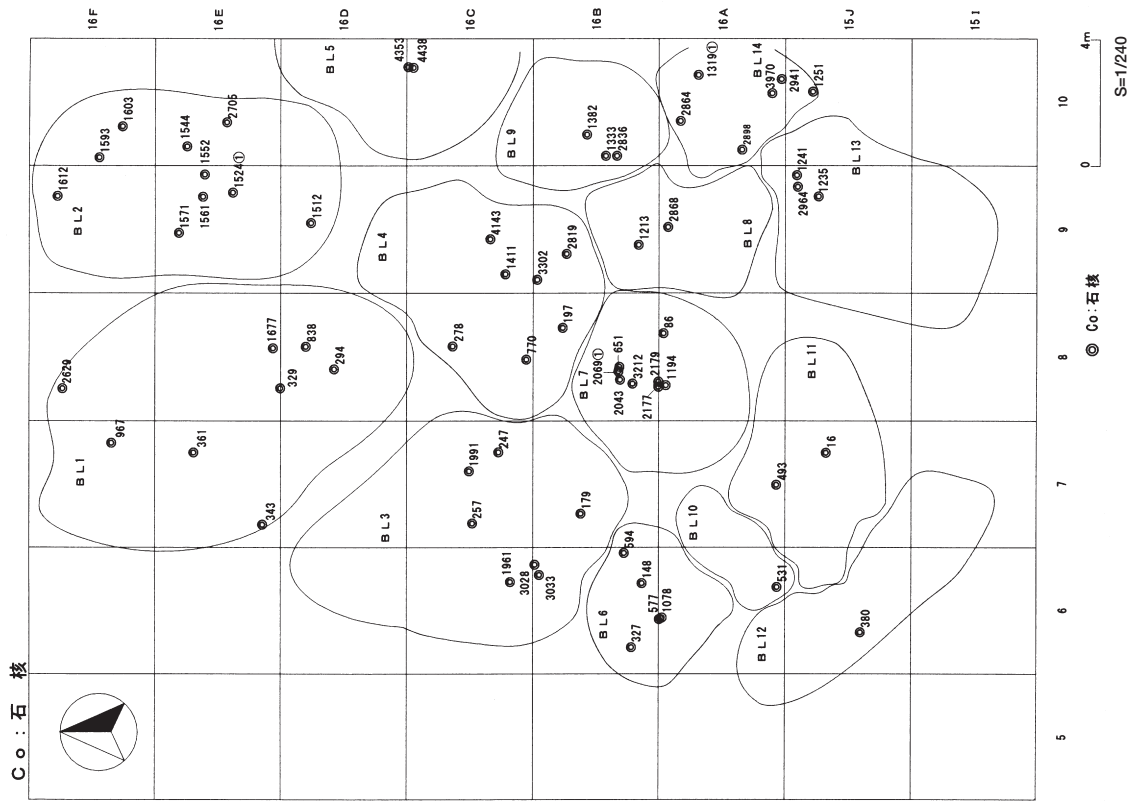
第81図 地蔵田遺跡出土 ブロック13、14の分布

Fig.81. Distribution of lithic artifacts concentration (Block 13 and 14) at the Jizouden Site.



第82図 地蔵田遺跡出土 石器器種別の分布 (石斧・礫器・ナイフ形石器・ペン先形ナイフ形石器)

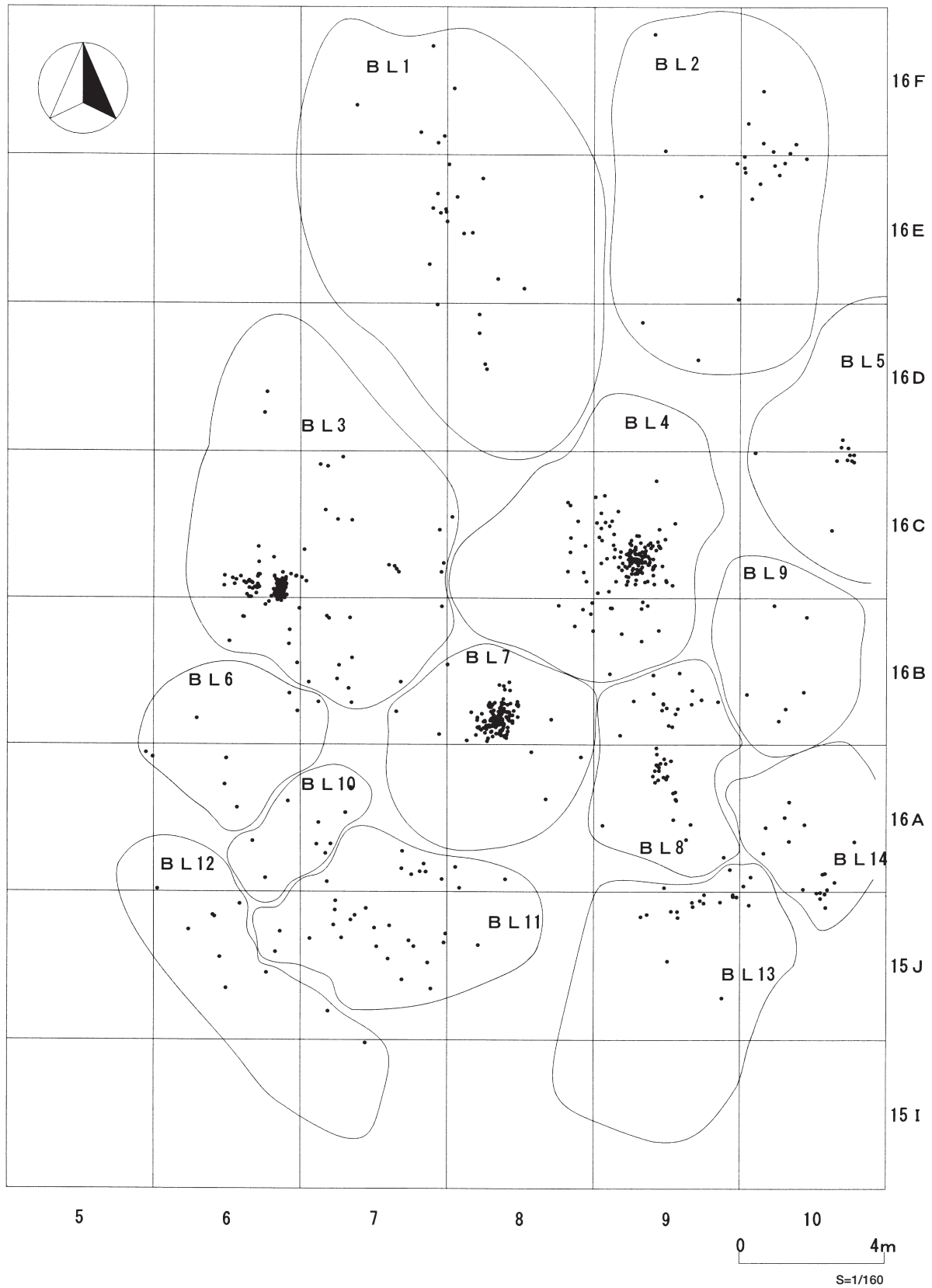
Fig.82. Distribution of stone tools (Axe and Pebble tool, Knife shaped tools, and Pen-point-Knife shaped tools) at the Jizouden Site.



第84図 地蔵田遺跡出土 石器器種別の分布 (ノッ子・鋸歯縁石器・石核)

Fig.84. Distribution of stone tools (Notch, Denticulate, and Core) at the Jizouden Site.

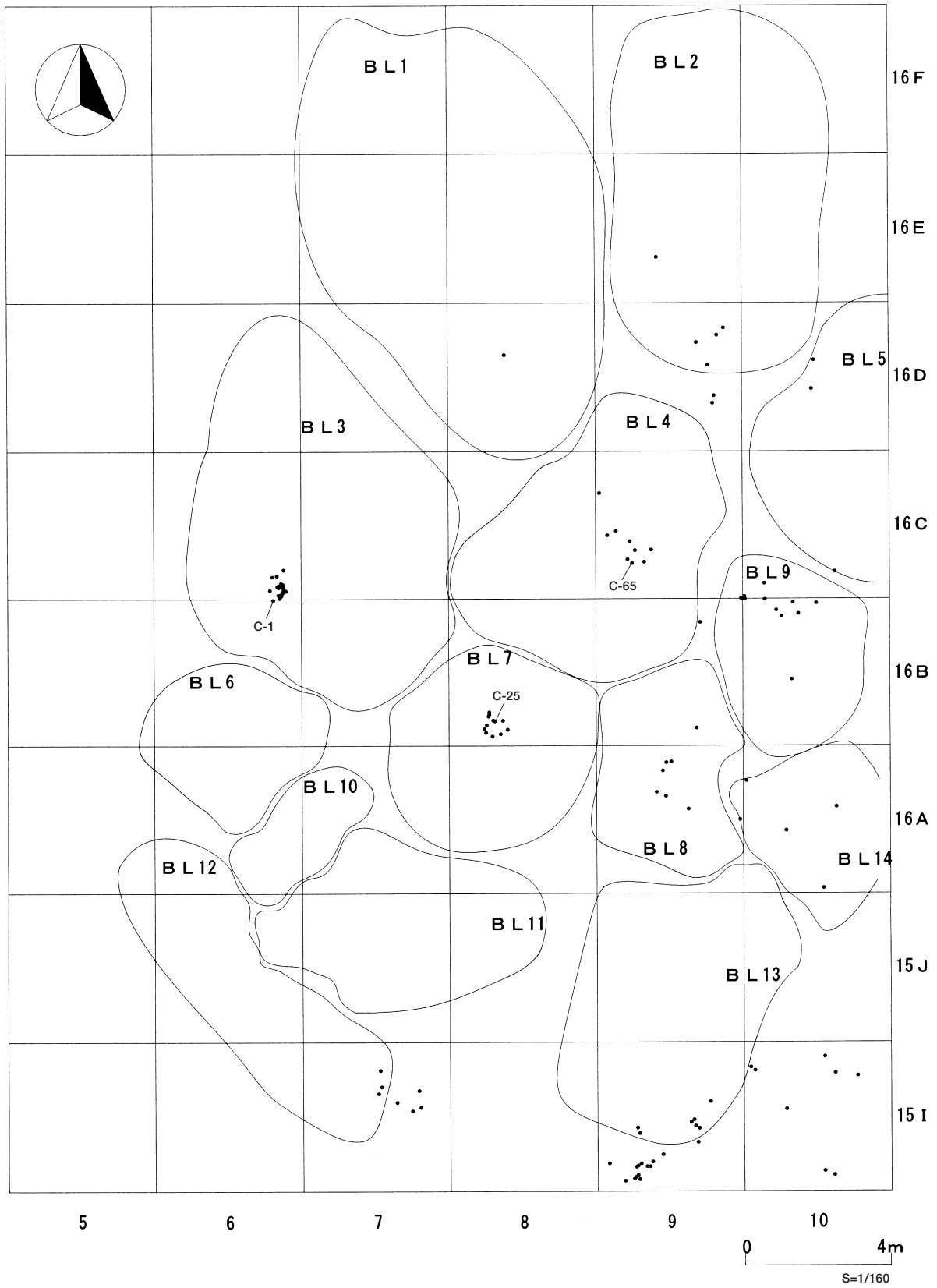
受熱のある石器



第85図 地蔵田遺跡出土 受熱のある石器分布図

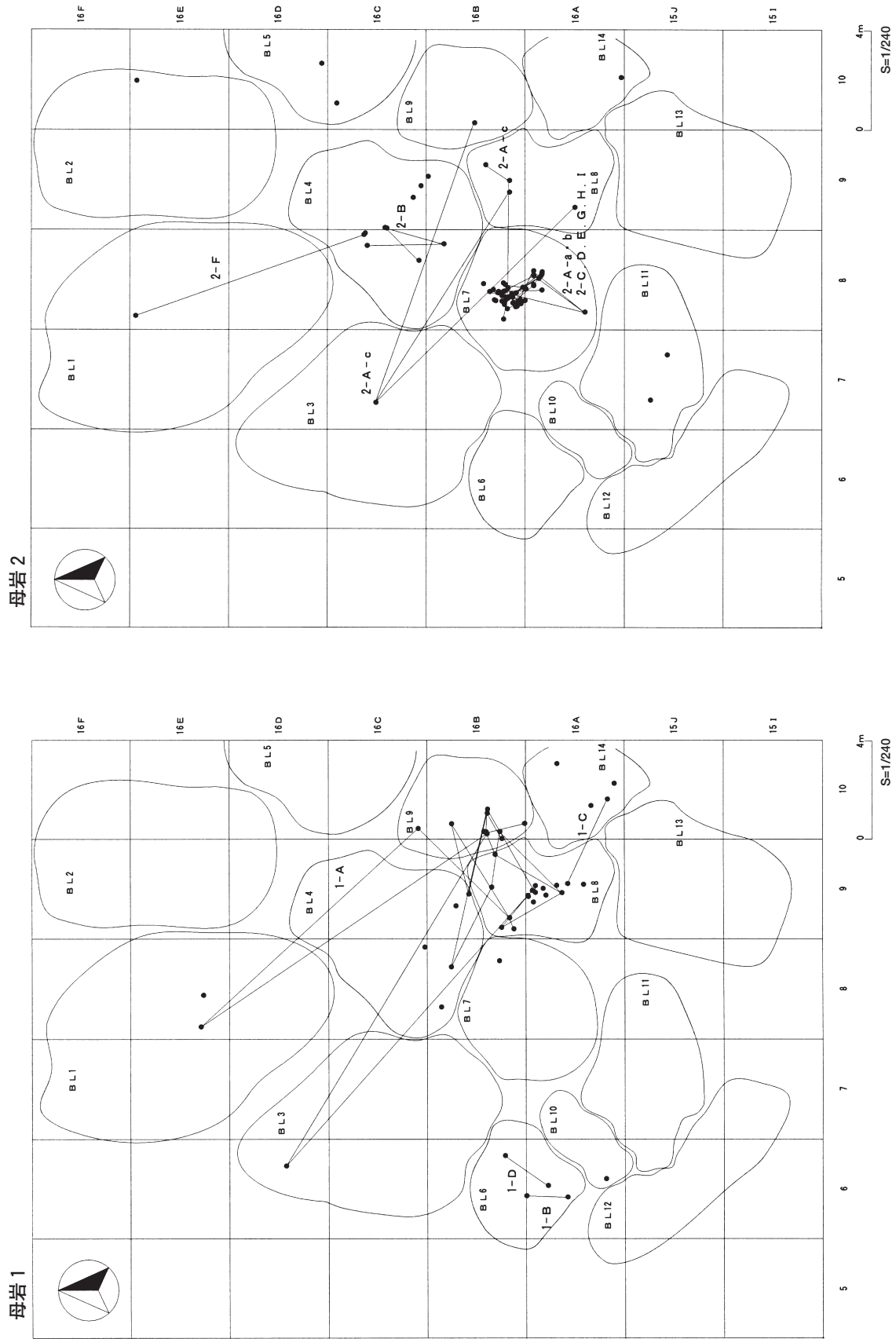
Fig.85. Distribution of heated lithic artifacts at the Jizouden Site.

炭化物

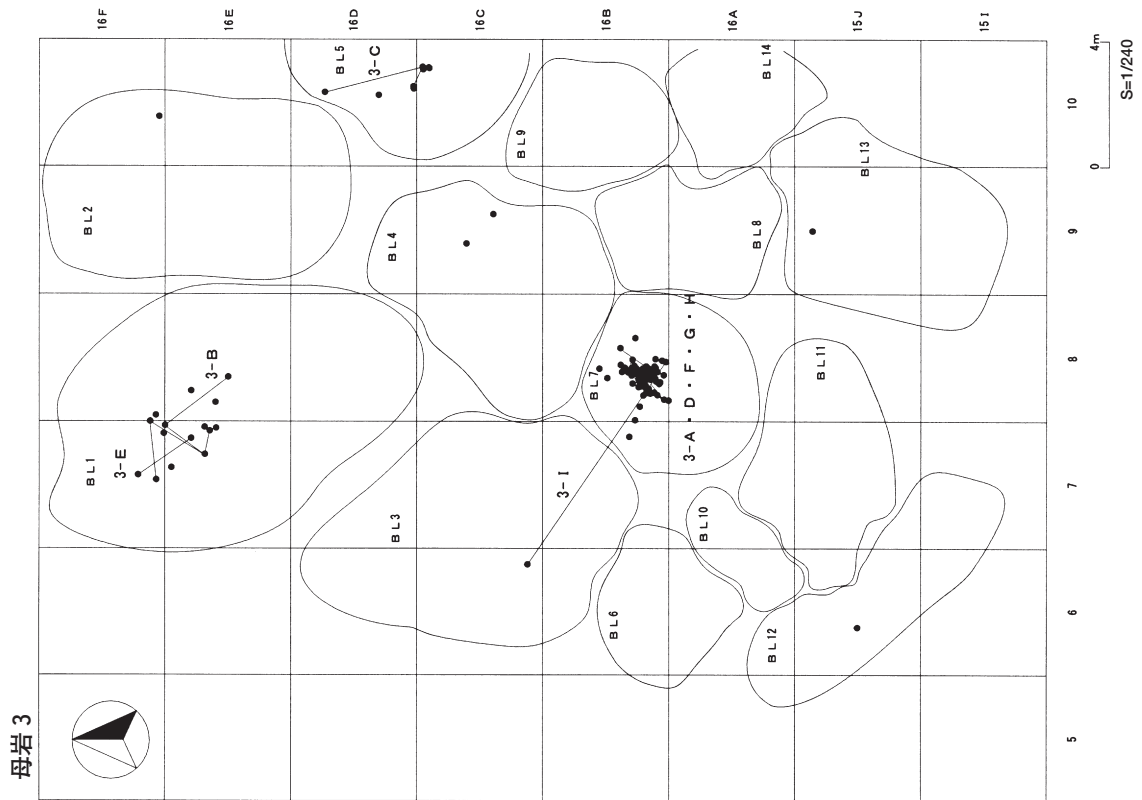
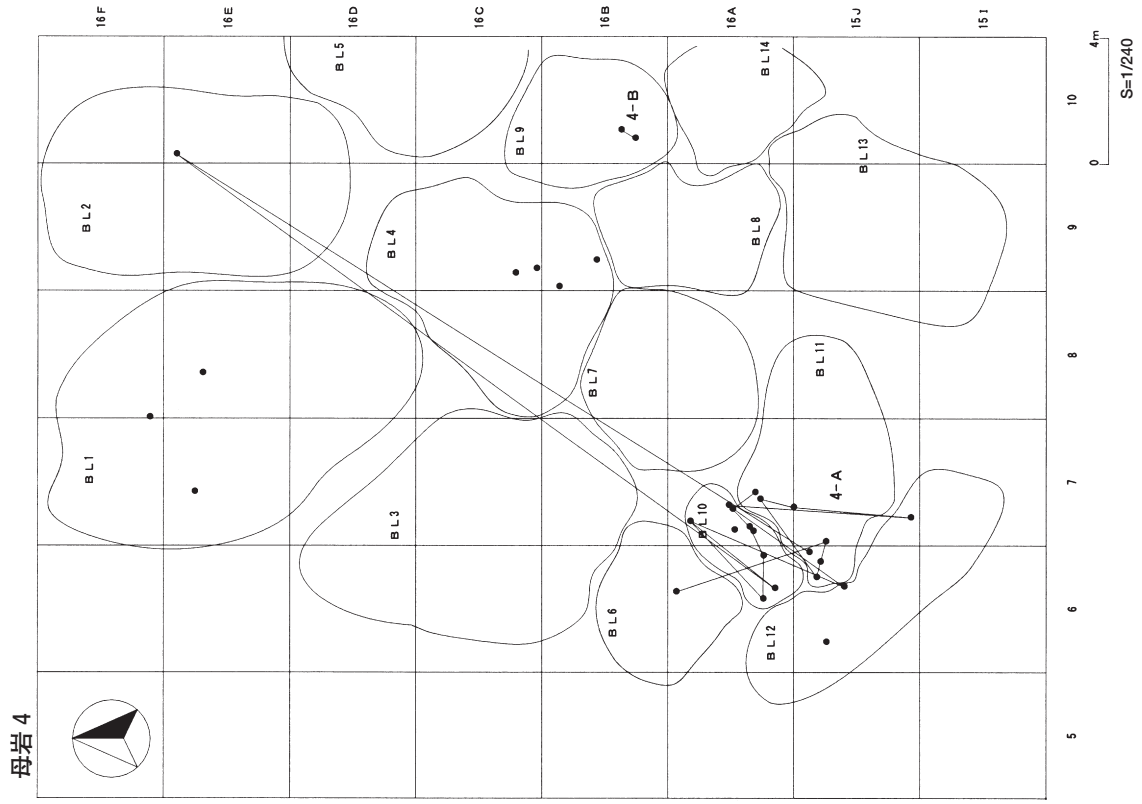


第86図 地藏田遺跡出土 炭化物分布図

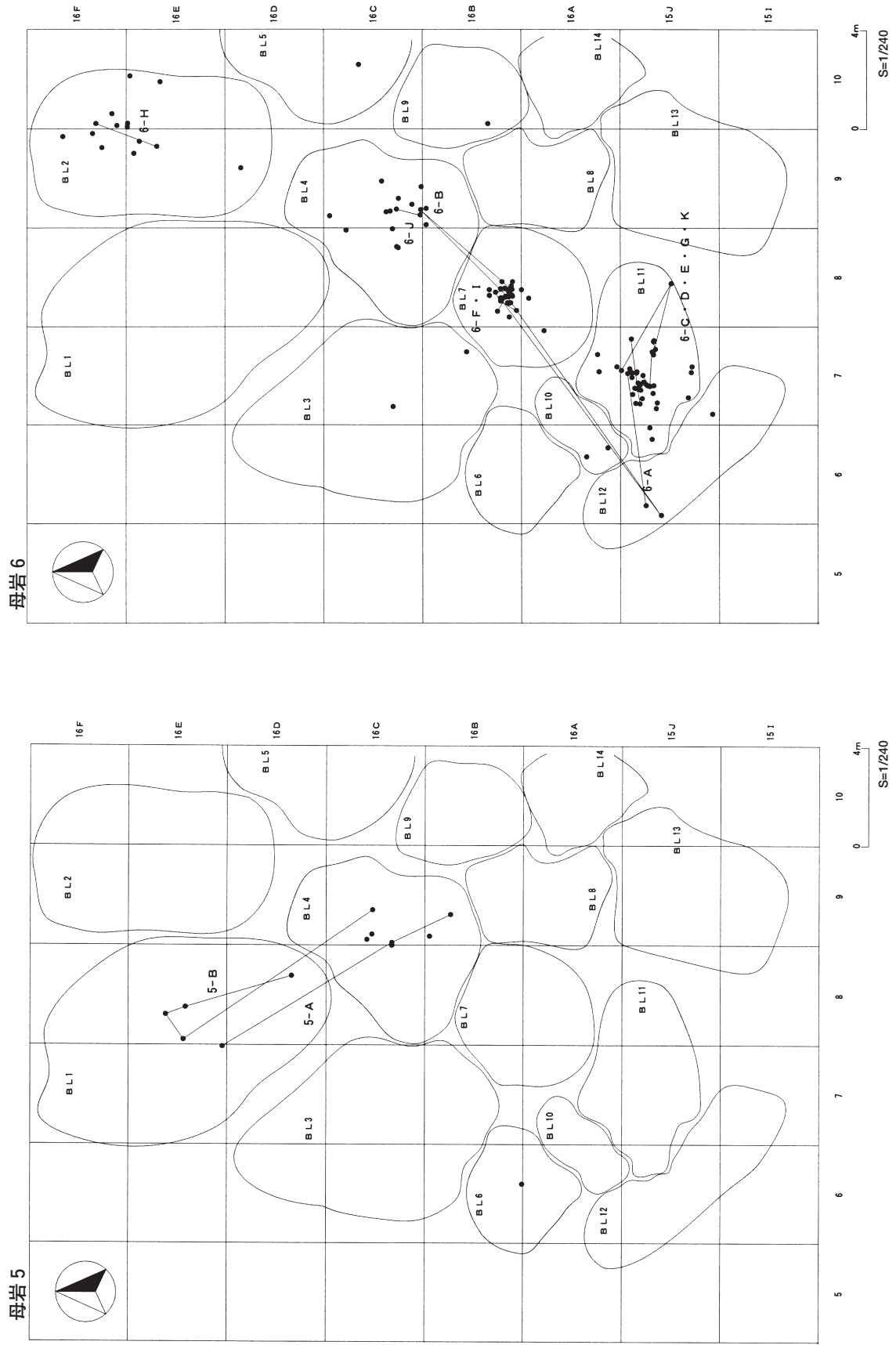
Fig.86. Distribution of carbonized remains at the Jizouden Site.



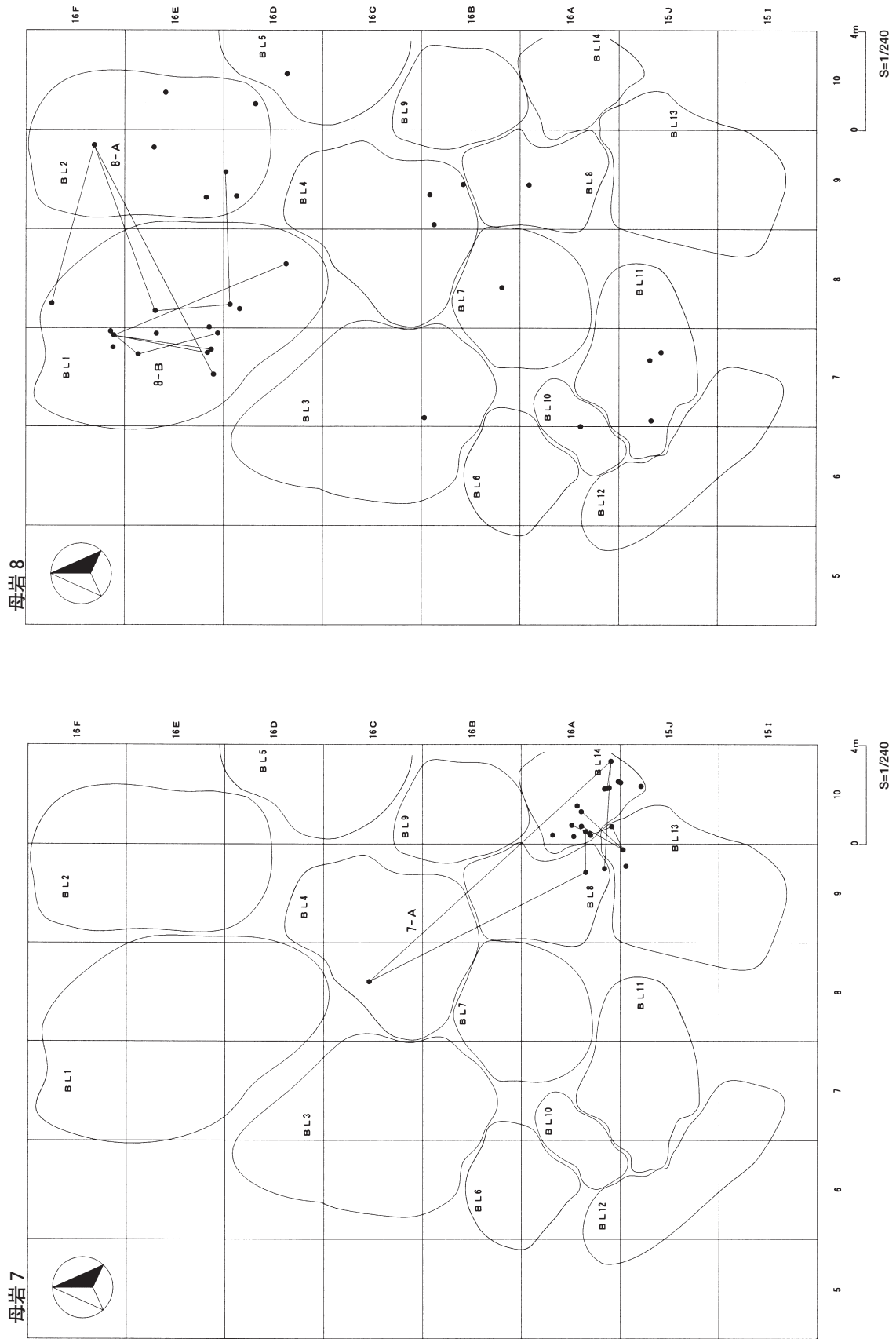
第87図 地蔵田遺跡出土 母岩 1、2 を構成する石器の分布
 Fig.87. Distribution of lithic artifacts classified by nodule groups (nodule No.1 and 2) at the Jizouden Site.



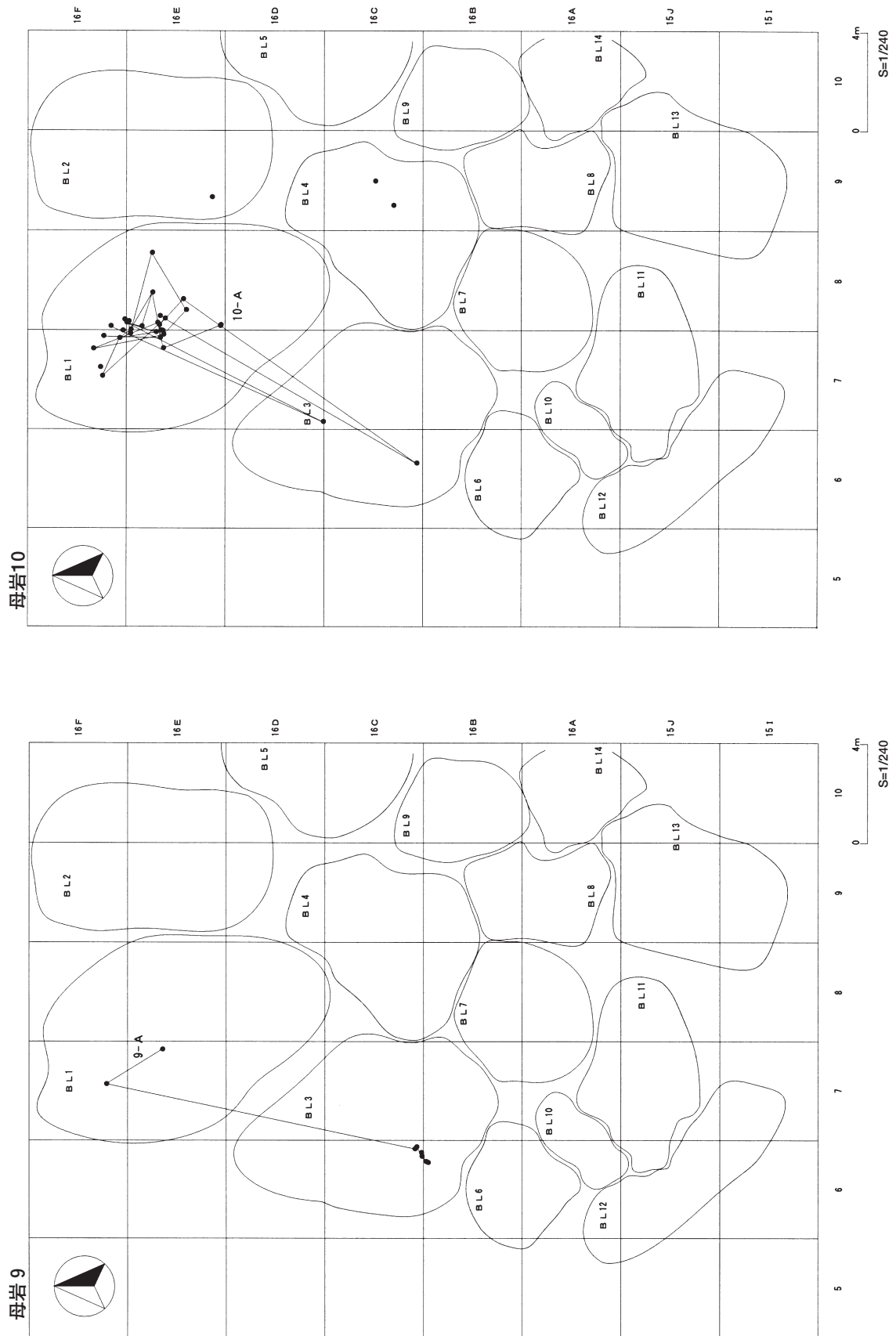
第88図 地藏田遺跡出土 母岩 3、4 を構成する石器の分布
Fig.88. Distribution of lithic artifacts classified by nodule groups (nodule No.3 and 4) at the Jizouden Site.



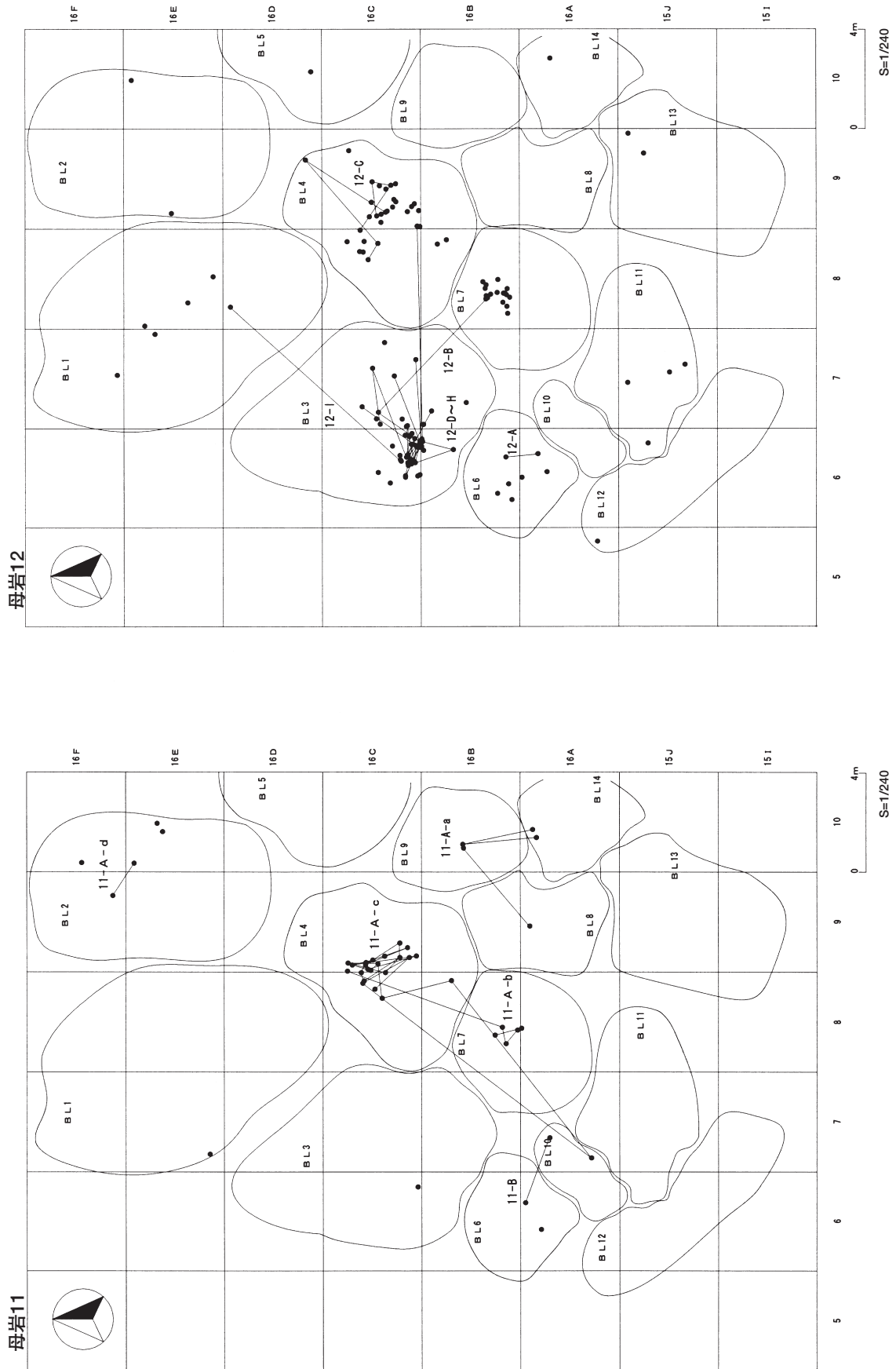
第89図 地藏田遺跡出土 母岩 5、6 を構成する石器の分布
 Fig.89. Distribution of lithic artifacts classified by nodule groups (nodule No.5 and 6) at the Jizouden Site.



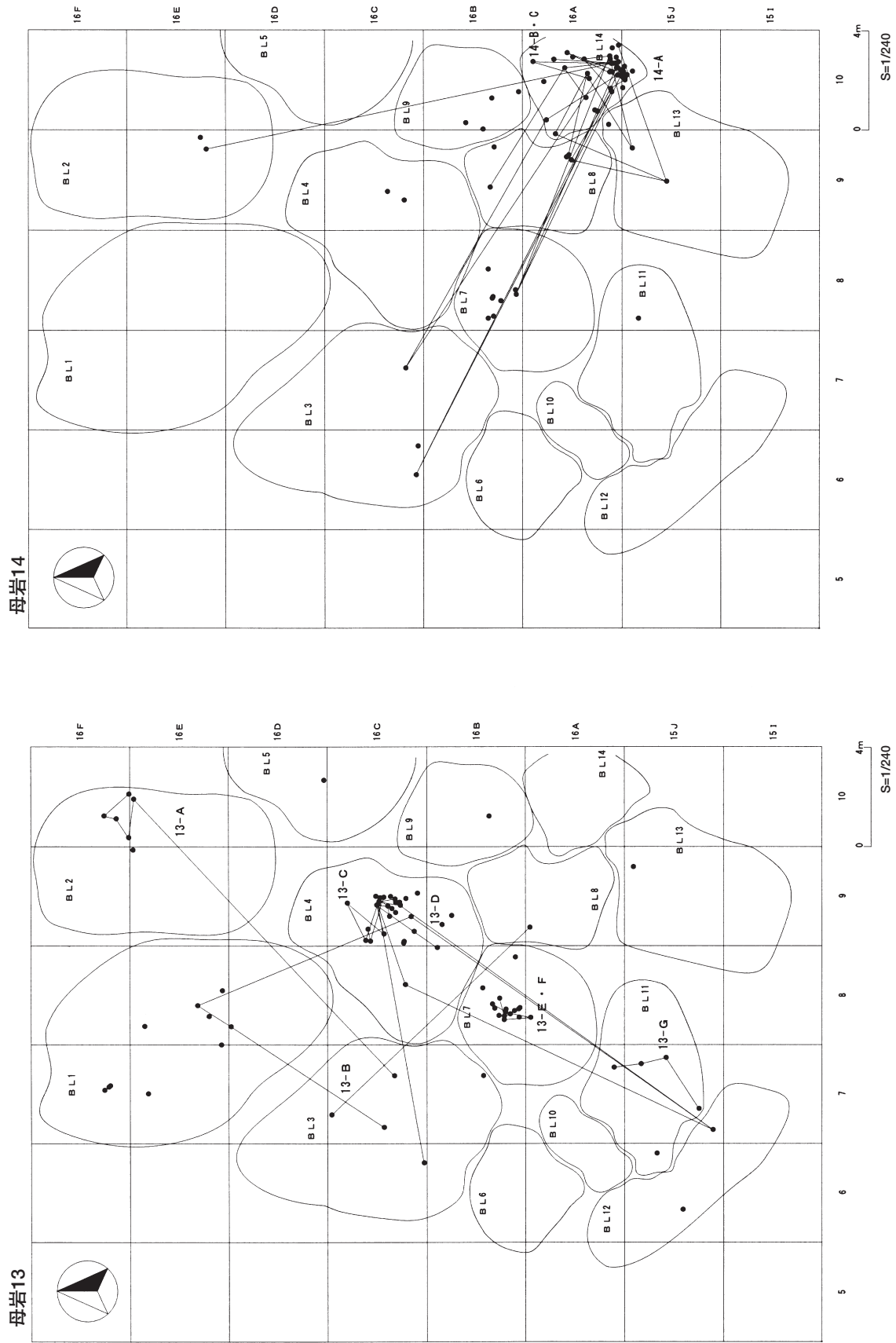
第90図 地藏田遺跡出土 母岩 7、8 を構成する石器の分布
Fig.90. Distribution of lithic artifacts classified by nodule groups (nodule No.7 and 8) at the Jizouden Site.



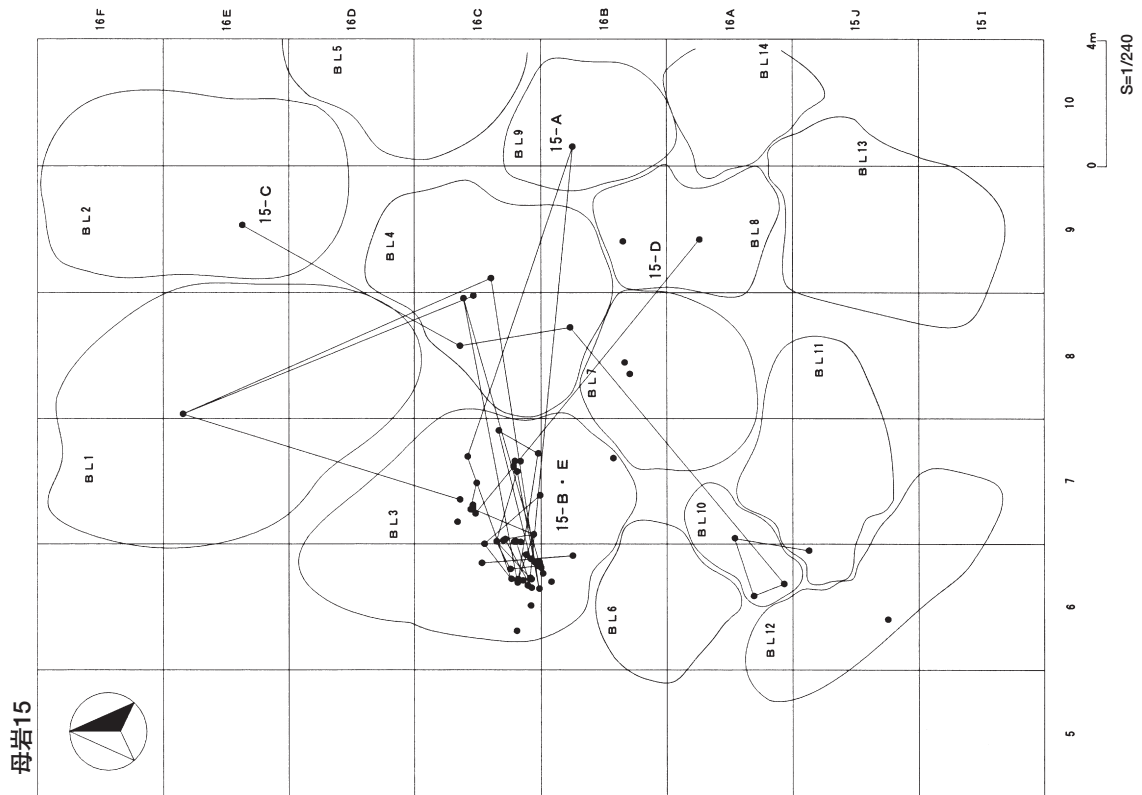
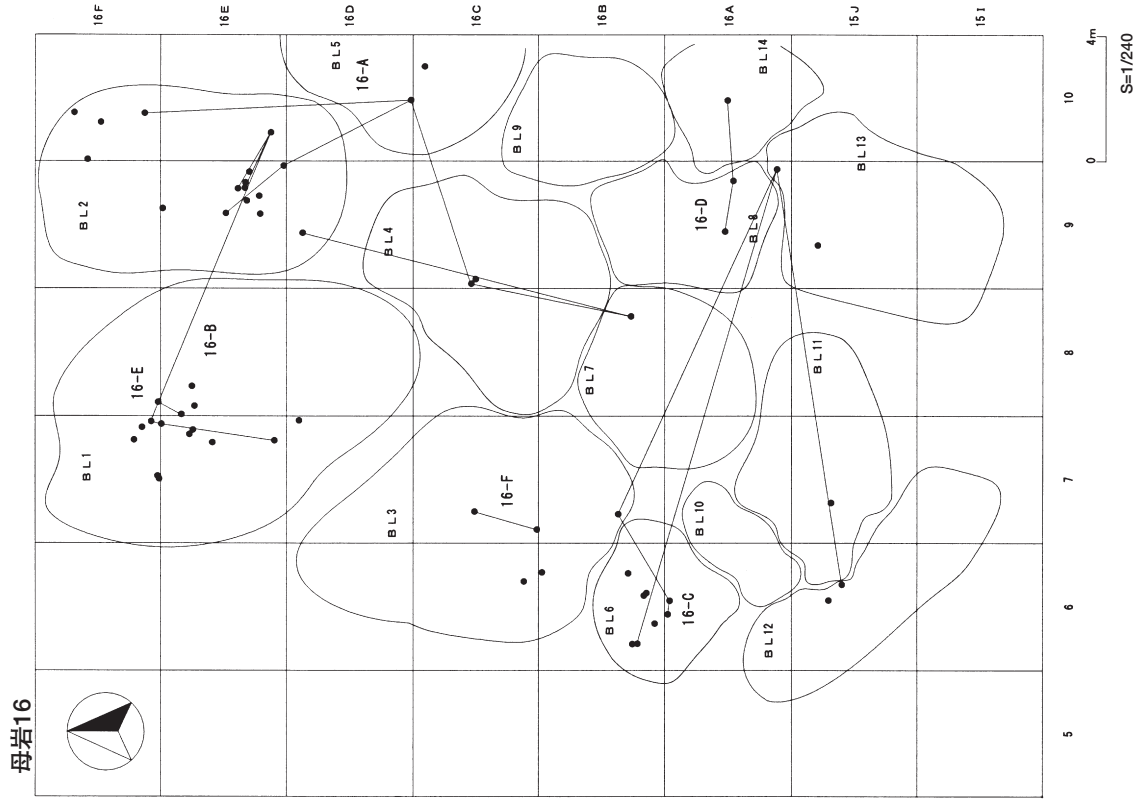
第91図 地藏田遺跡出土 母岩 9、10を構成する石器の分布
 Fig.91. Distribution of lithic artifacts classified by nodule groups (nodule No.9 and 10) at the Jizouden Site.



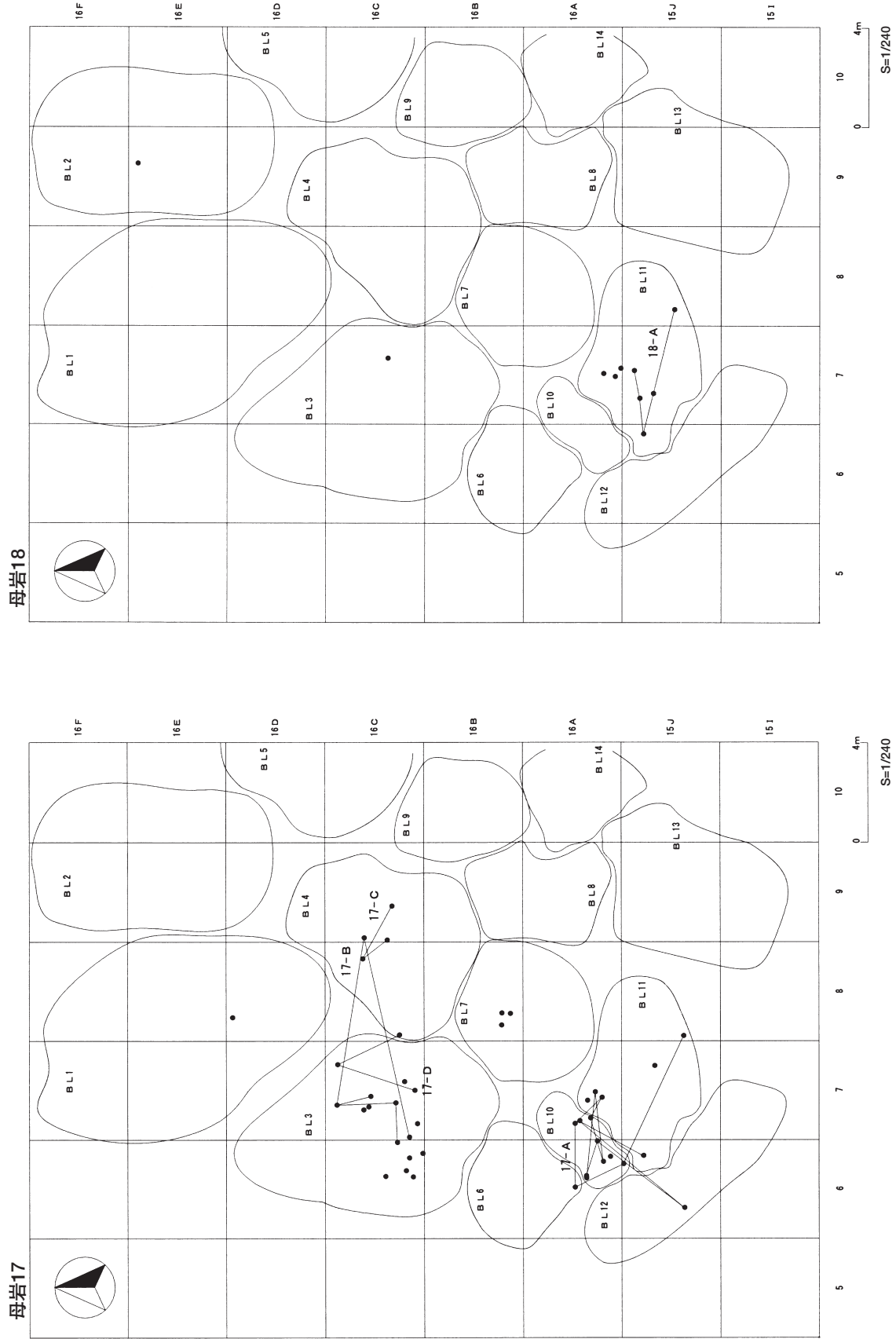
第92図 地蔵田遺跡出土 母岩11、12を構成する石器の分布
Fig.92. Distribution of lithic artifacts classified by nodule groups (nodule No.11 and 12) at the Jizouden Site.



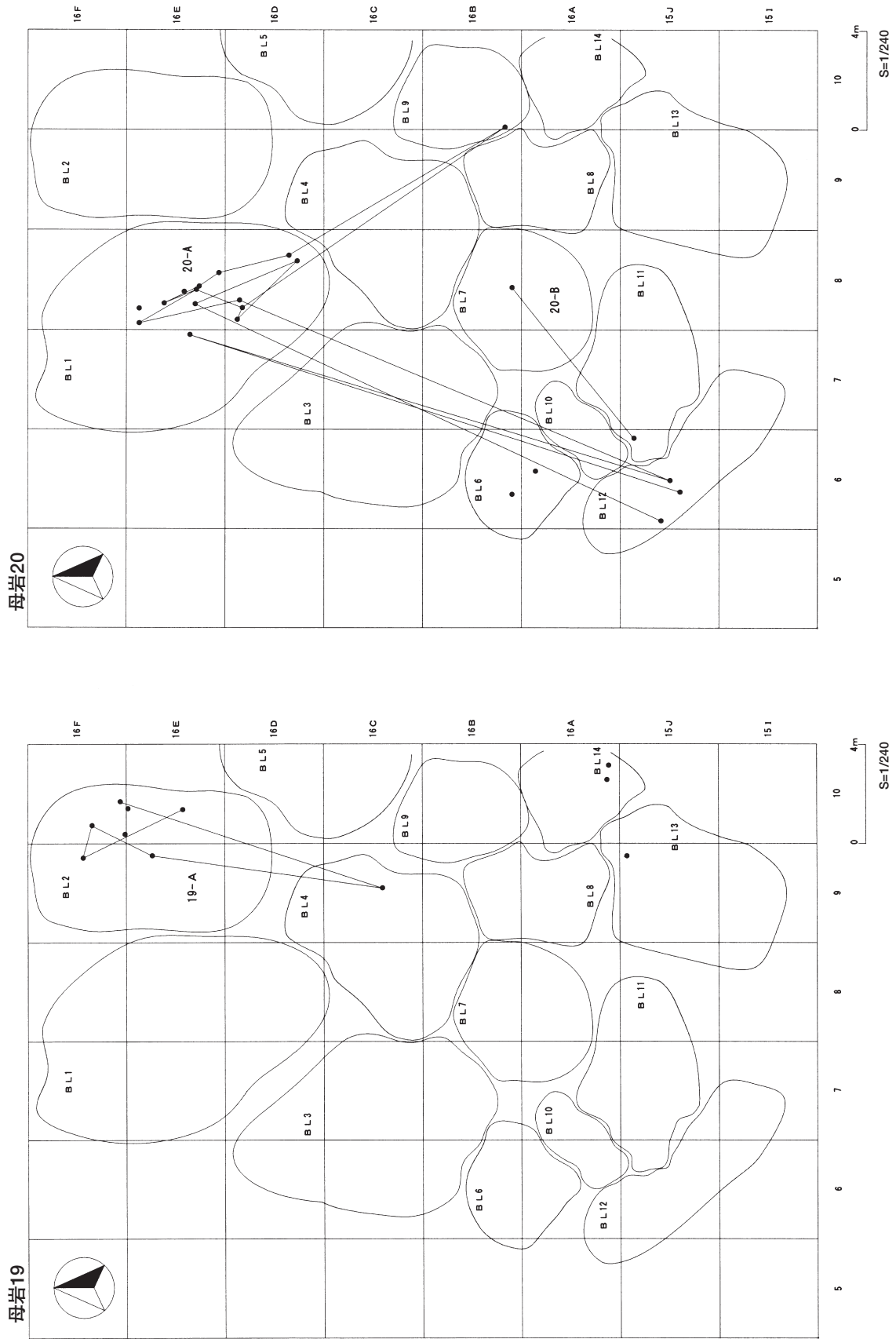
第93図 地蔵田遺跡出土 母岩13、14を構成する石器の分布
 Fig.93. Distribution of lithic artifacts classified by nodule groups (nodule No.13 and 14) at the Jizouden Site.



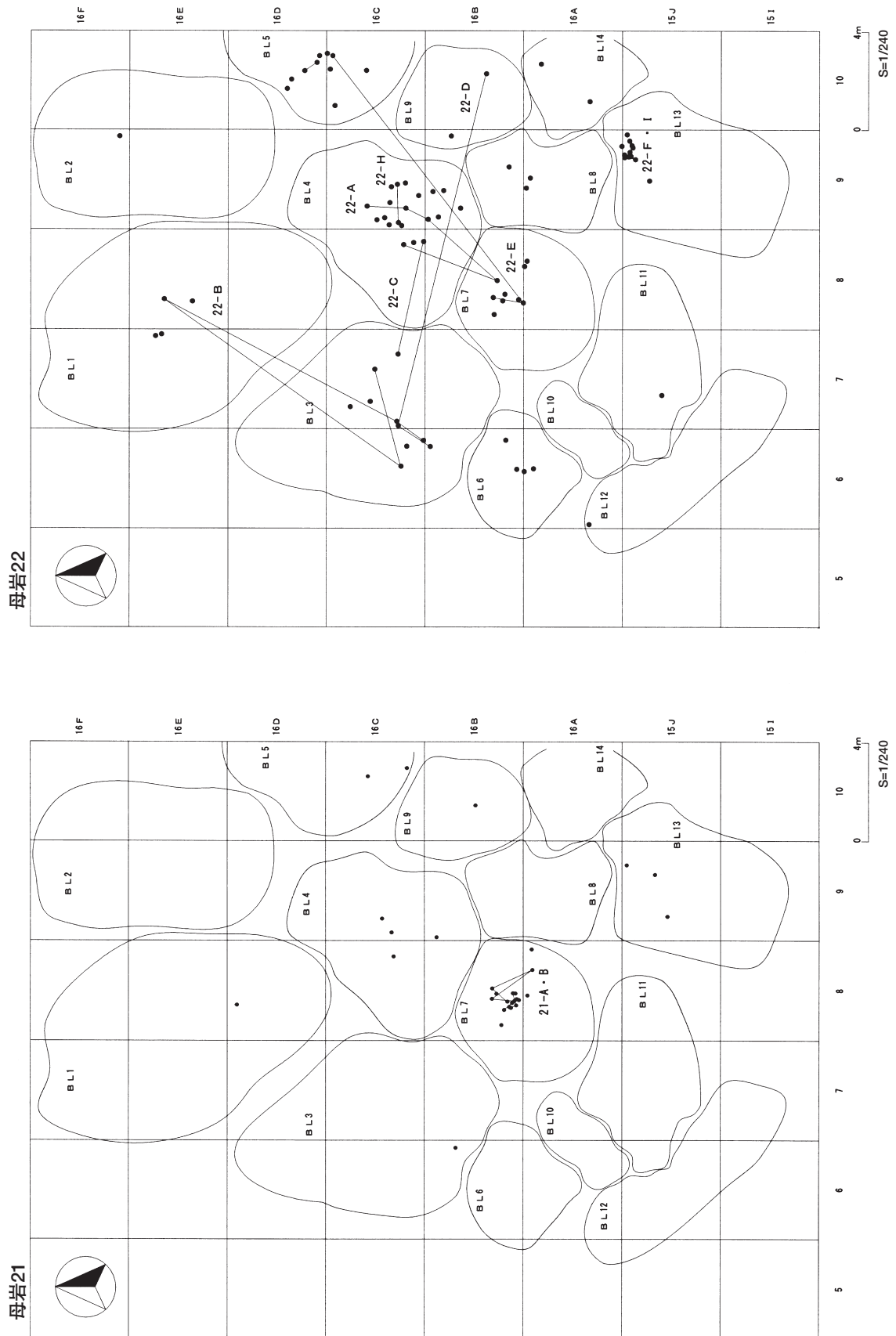
第94図 地蔵田遺跡出土 母岩15、16を構成する石器の分布
Fig.94. Distribution of lithic artifacts classified by nodule groups (nodule No.15 and 16) at the Jizouden Site.



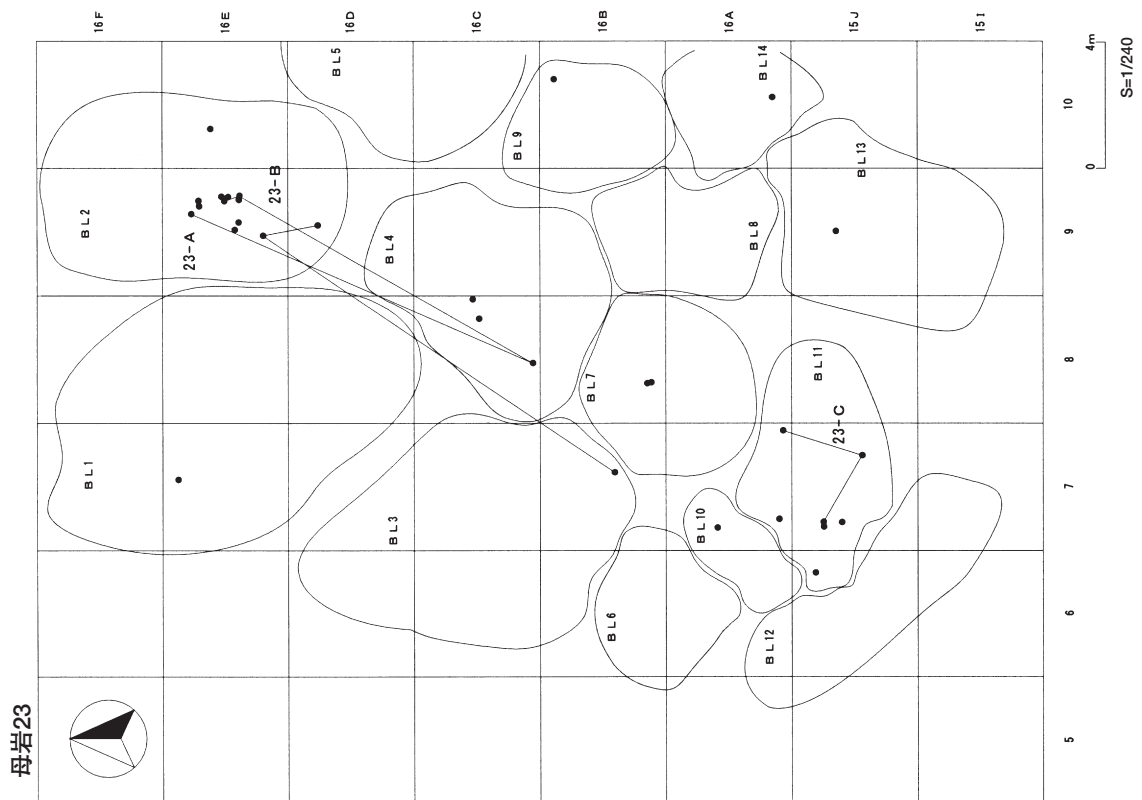
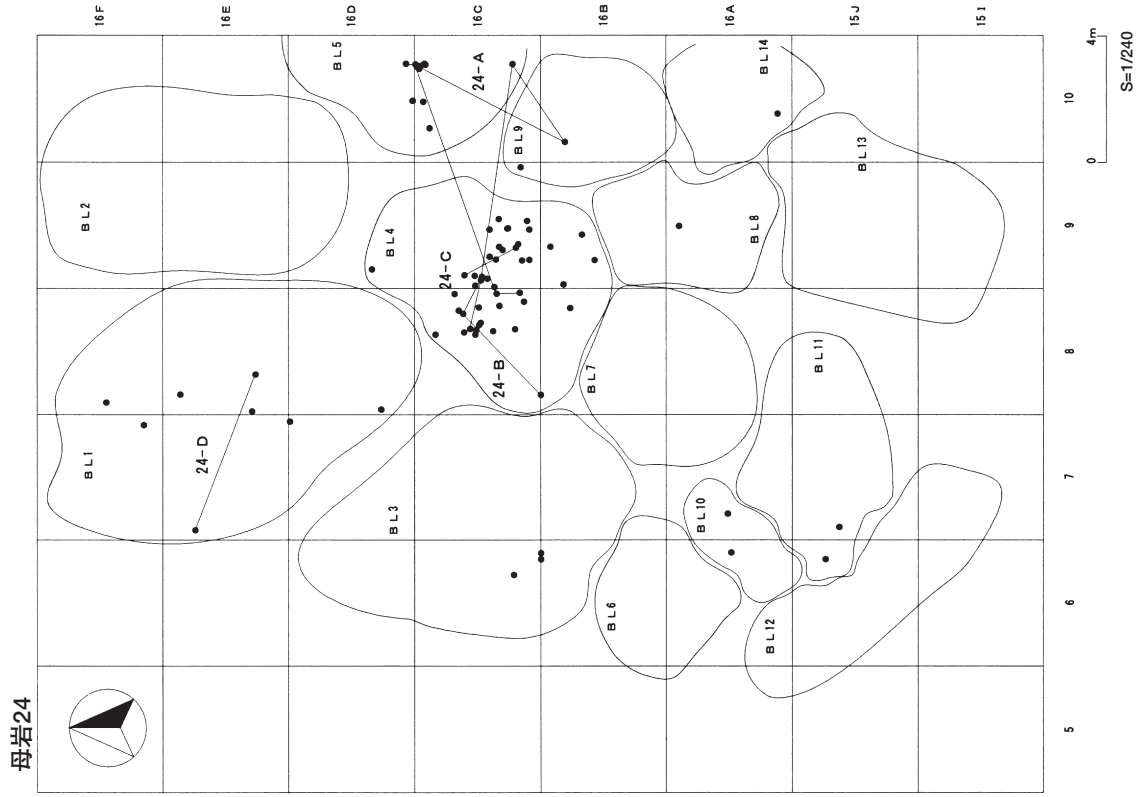
第95図 地蔵田遺跡出土 母岩17、18を構成する石器の分布
 Fig.95. Distribution of lithic artifacts classified by nodule groups (nodule No.17 and 18) at the Jizouden Site.



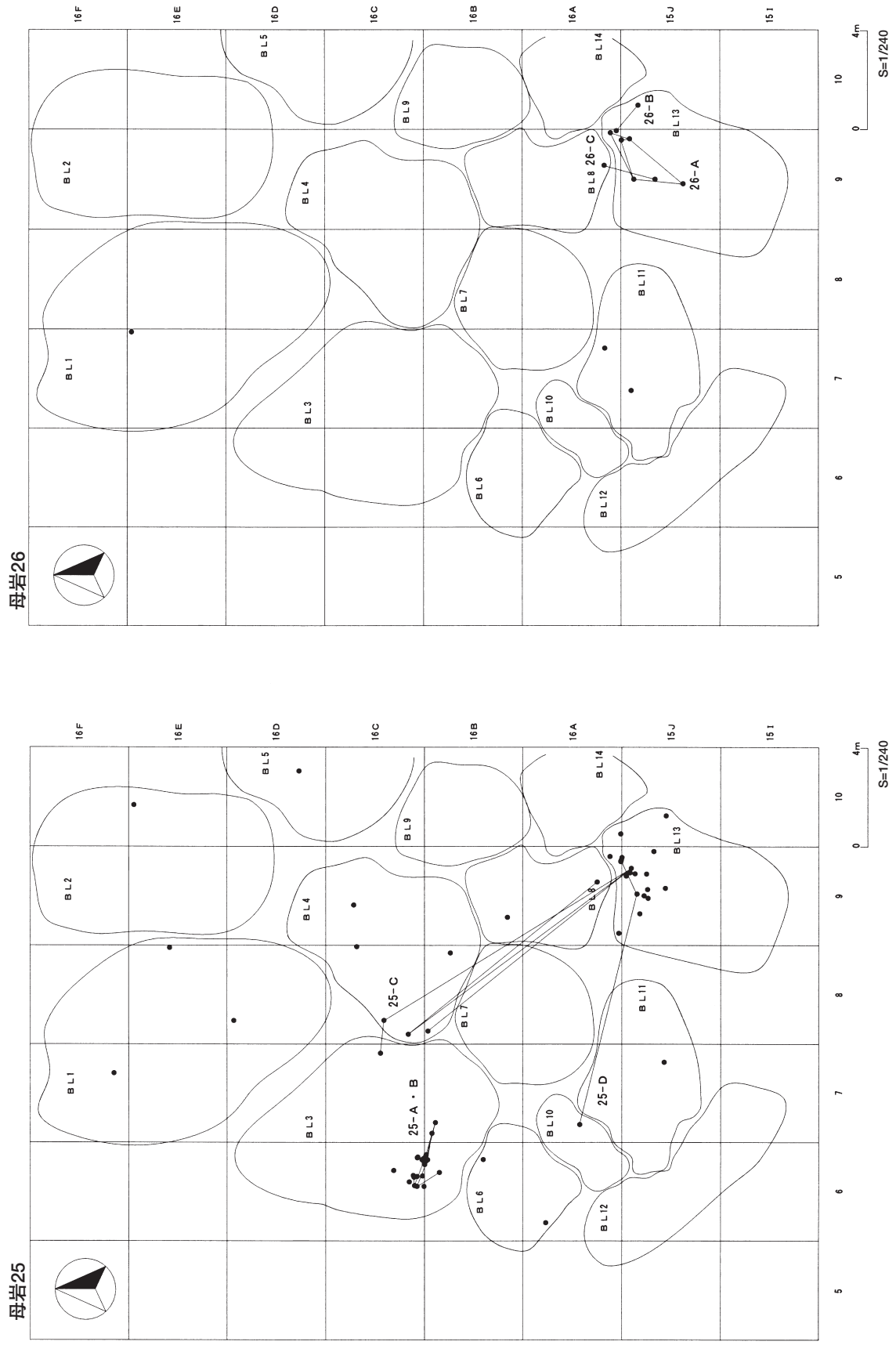
第96図 地蔵田遺跡出土 母岩19、20を構成する石器の分布
Fig.96. Distribution of lithic artifacts classified by nodule groups (nodule No.19 and 20) at the Jizouden Site.



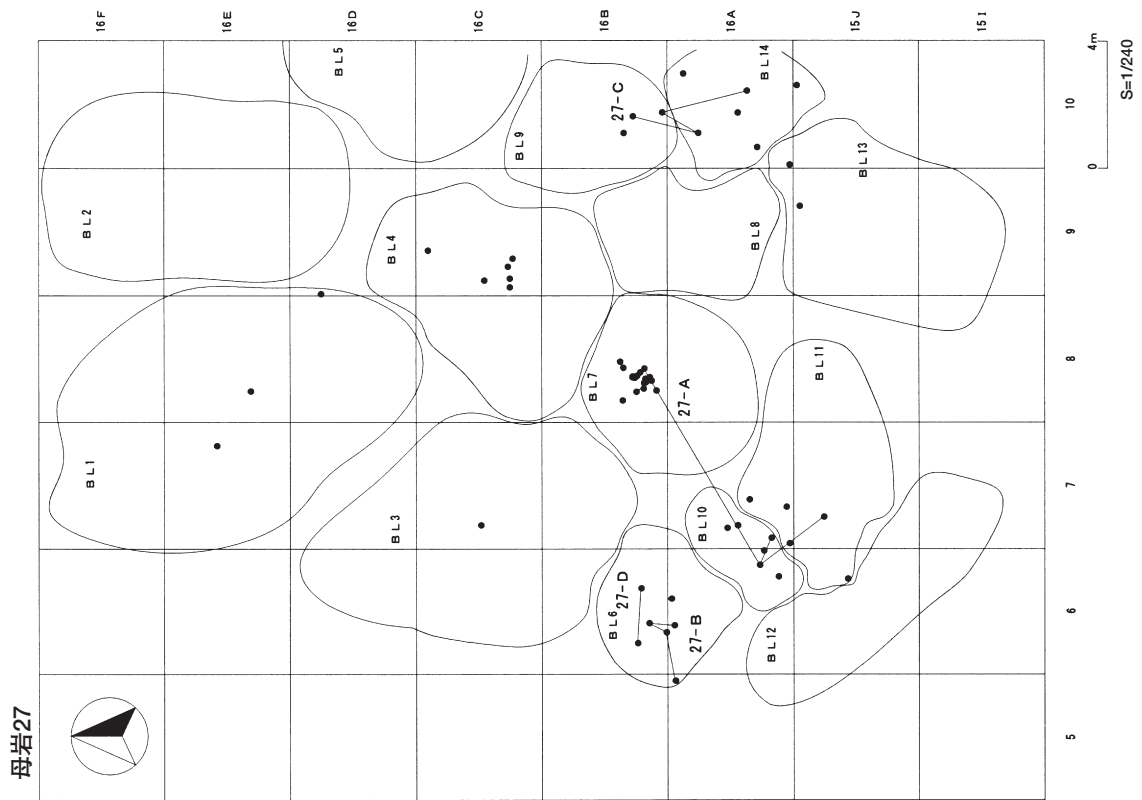
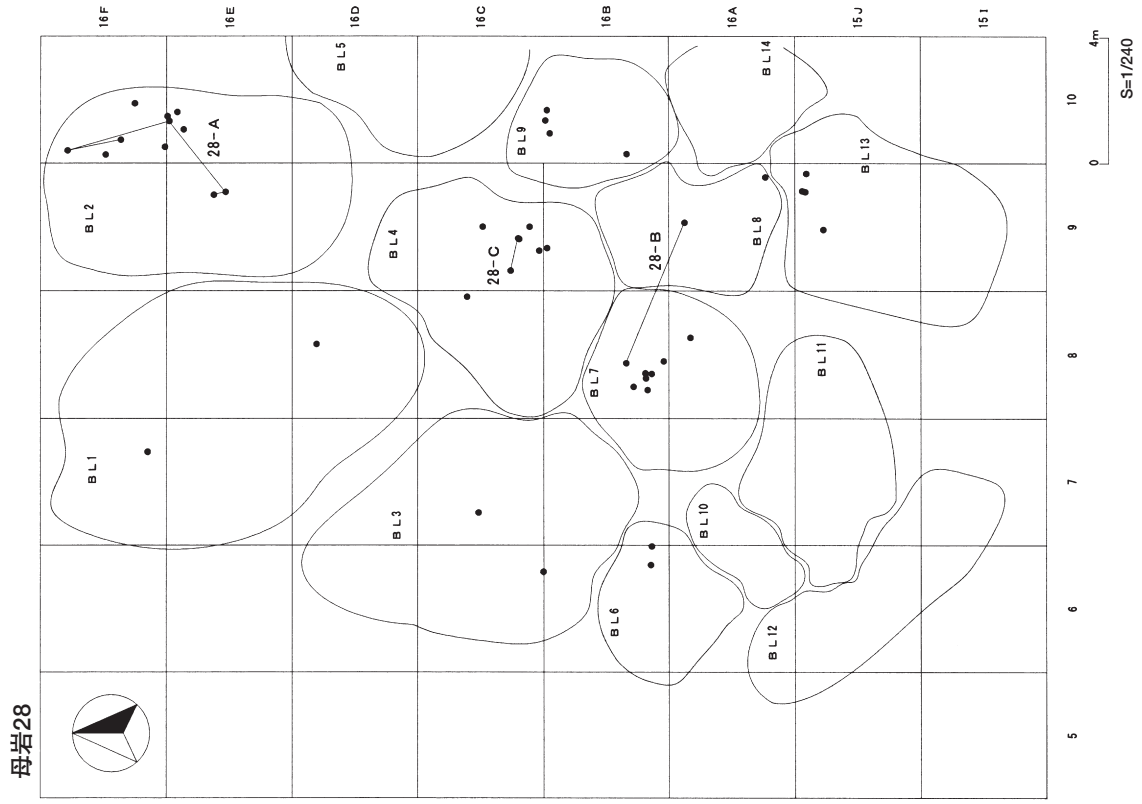
第97図 地蔵田遺跡出土 母岩21、22を構成する石器の分布
 Fig.97. Distribution of lithic artifacts classified by nodule groups (nodule No.21 and 22) at the Jizouden Site.



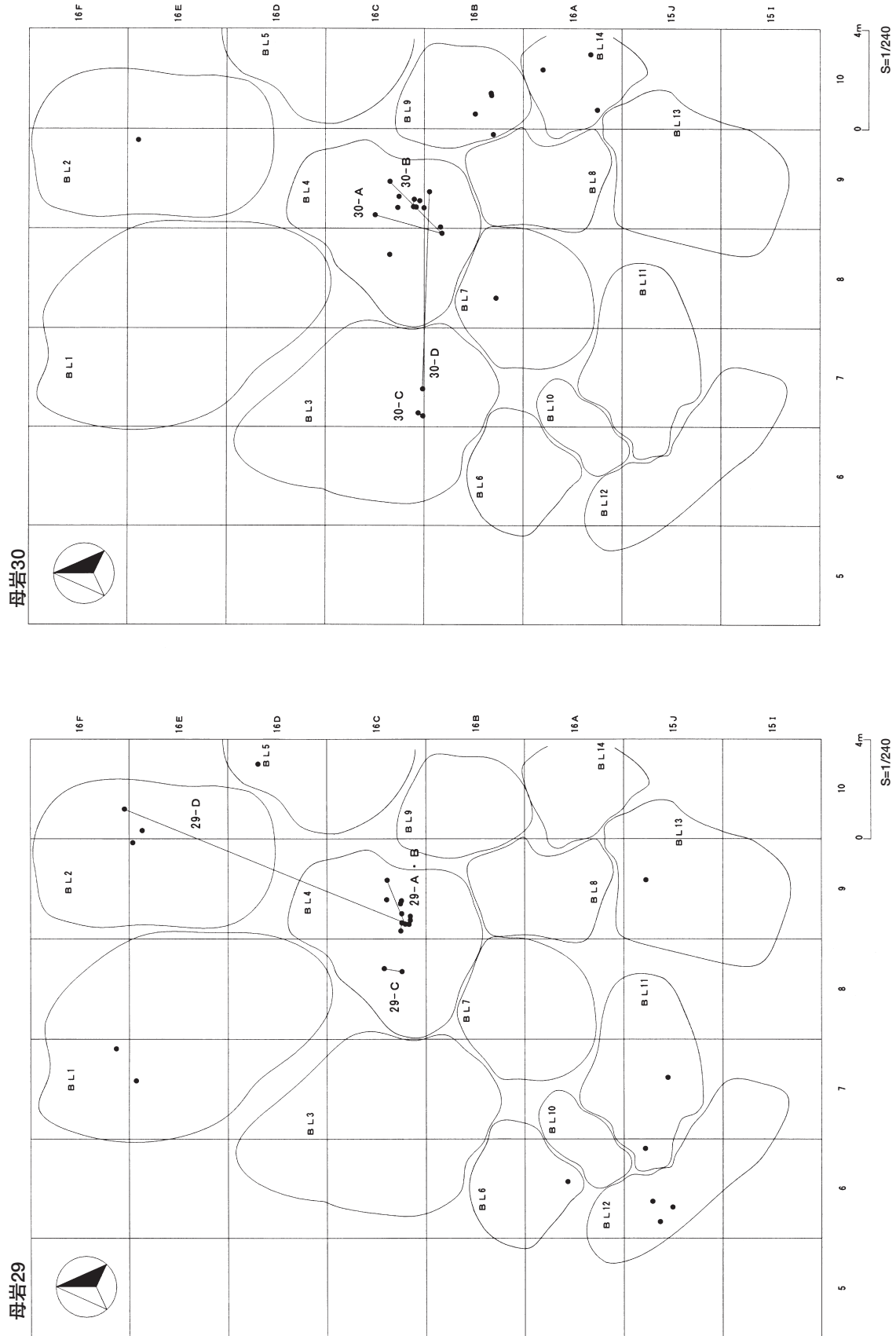
第98図 地蔵田遺跡出土 母岩23、24を構成する石器の分布
Fig.98. Distribution of lithic artifacts classified by nodule groups (nodule No.23 and 24) at the Jizouden Site.



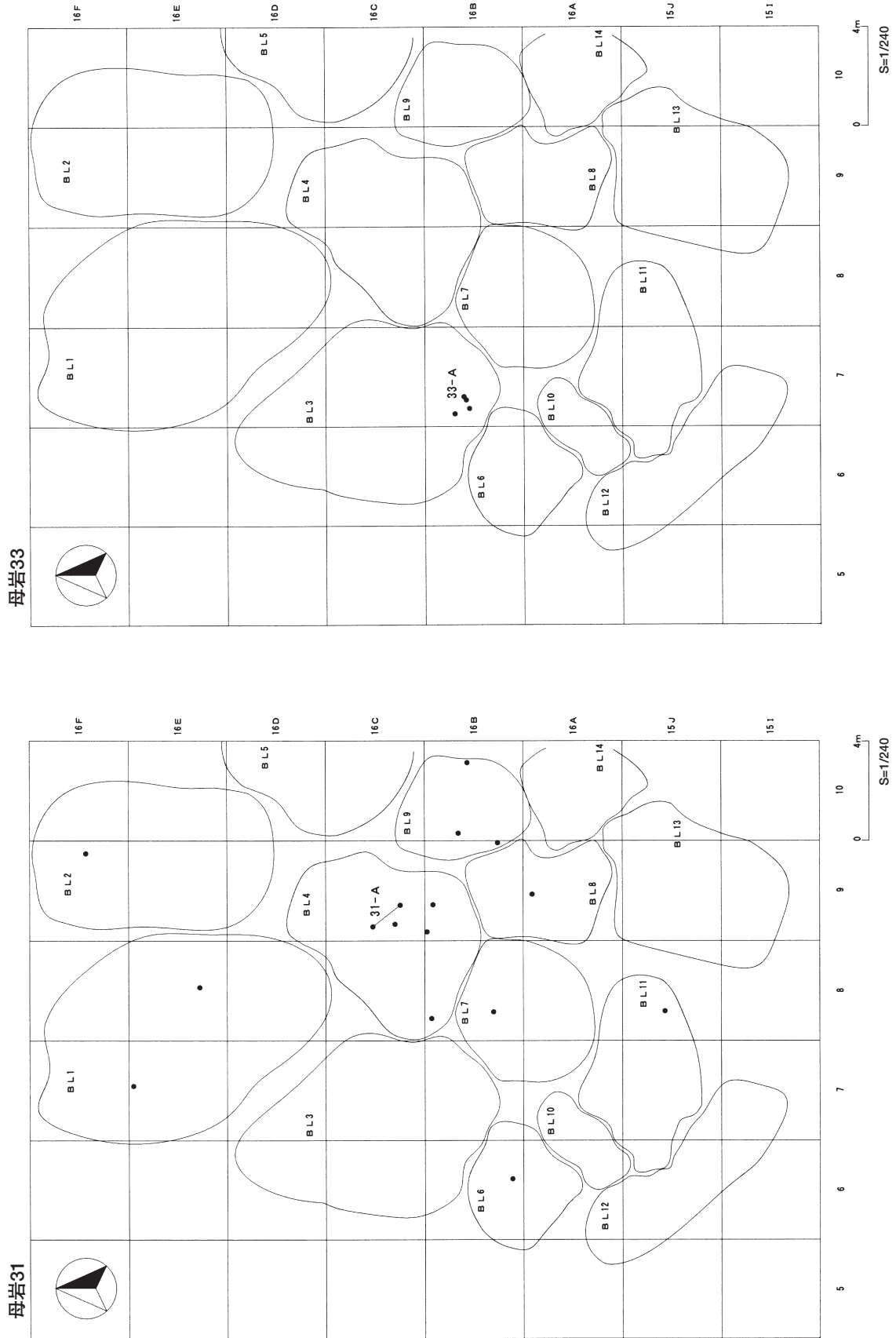
第99図 地蔵田遺跡出土 母岩25、26を構成する石器の分布
 Fig.99. Distribution of lithic artifacts classified by nodule groups (nodule No.25 and 26) at the Jizouden Site.



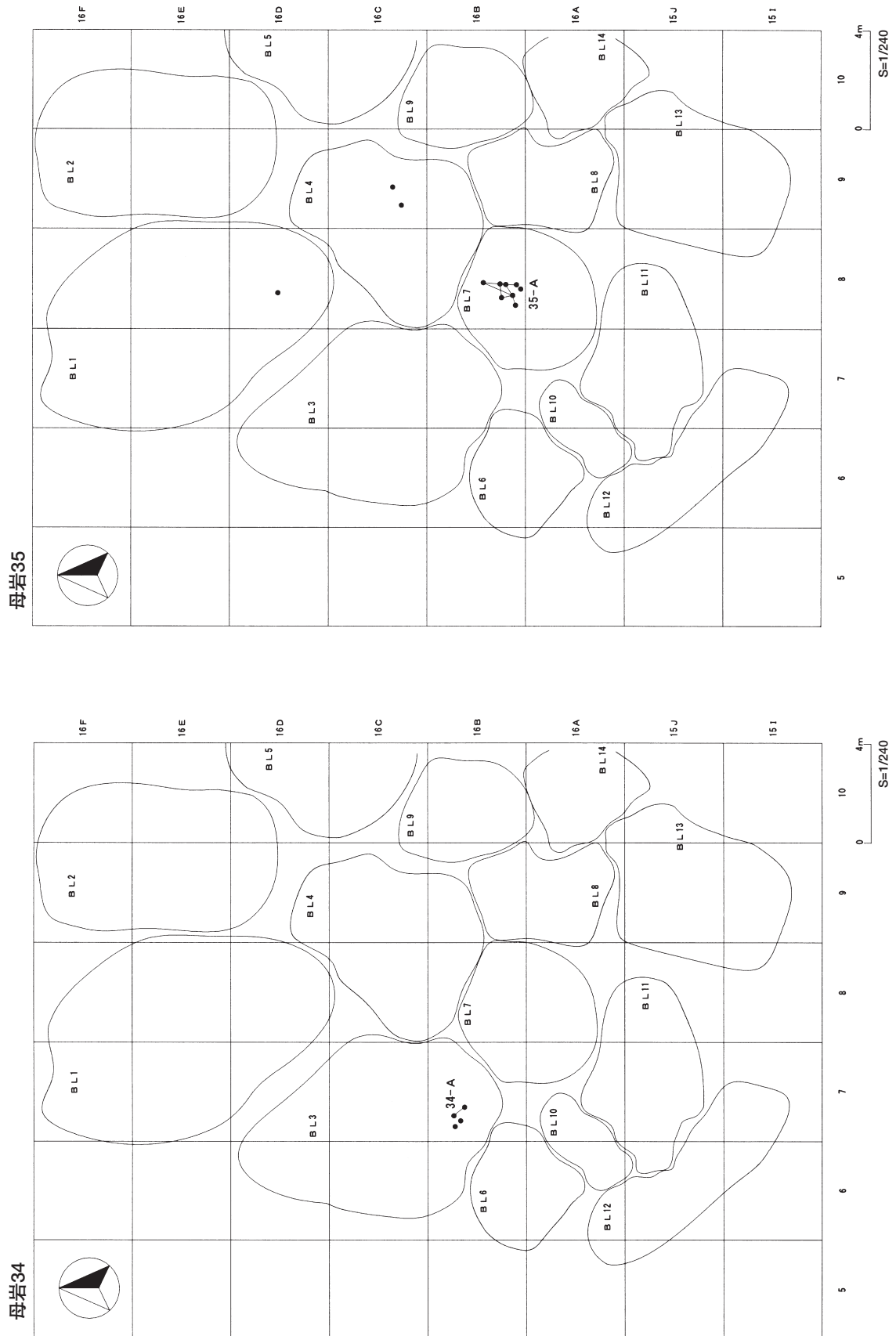
第100図 地藏田遺跡出土 母岩27、28を構成する石器の分布
Fig.100. Distribution of lithic artifacts classified by nodule groups (nodule No.27 and 28) at the Jizouden Site.



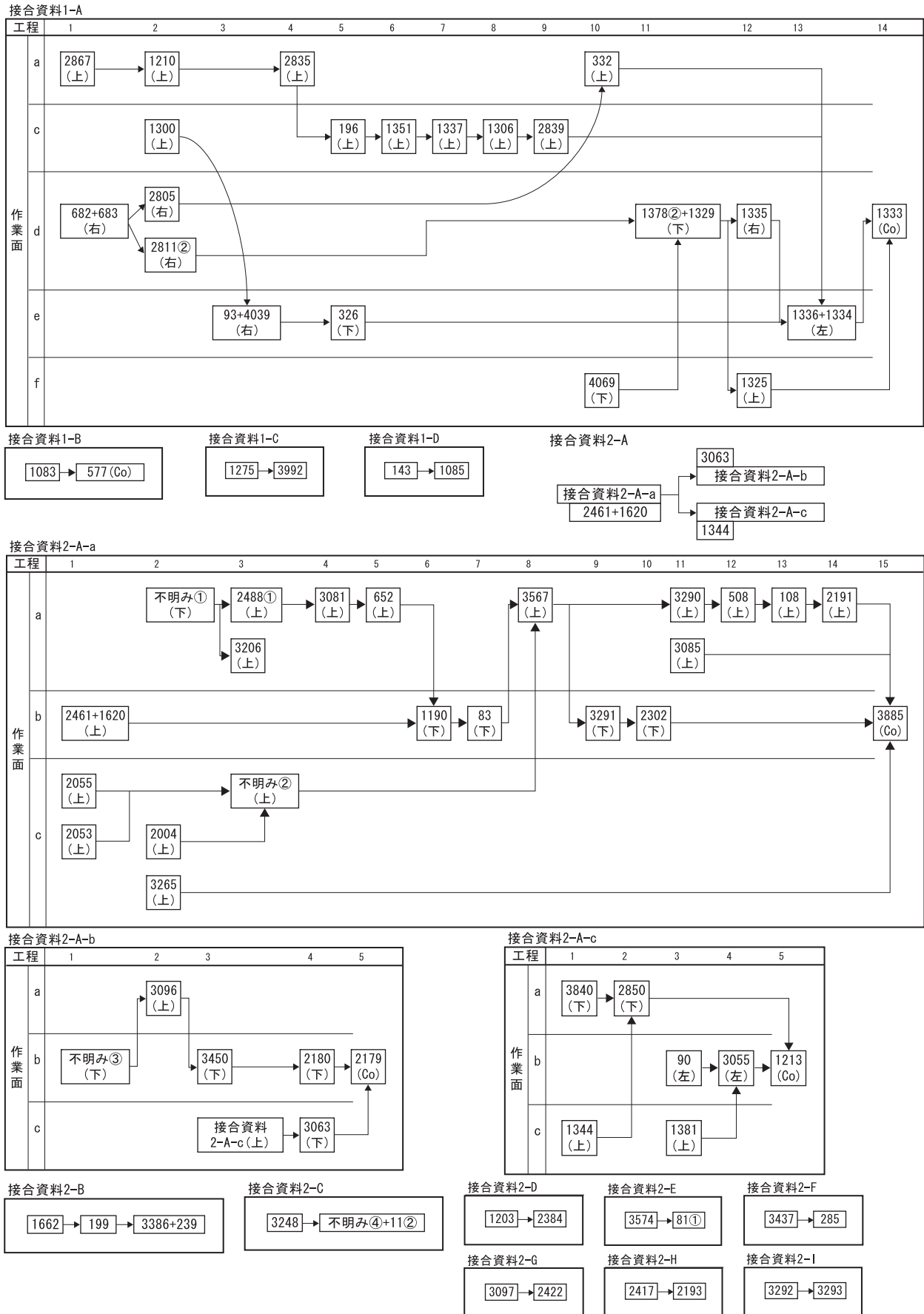
第101図 地蔵田遺跡出土 母岩29、30を構成する石器の分布
 Fig.101. Distribution of lithic artifacts classified by nodule groups (nodule No.29 and 30) at the Jizouden Site.



第102図 地蔵田遺跡出土 母岩31、33を構成する石器の分布
Fig.102. Distribution of lithic artifacts classified by nodule groups (nodule No.31 and 33) at the Jizouden Site.

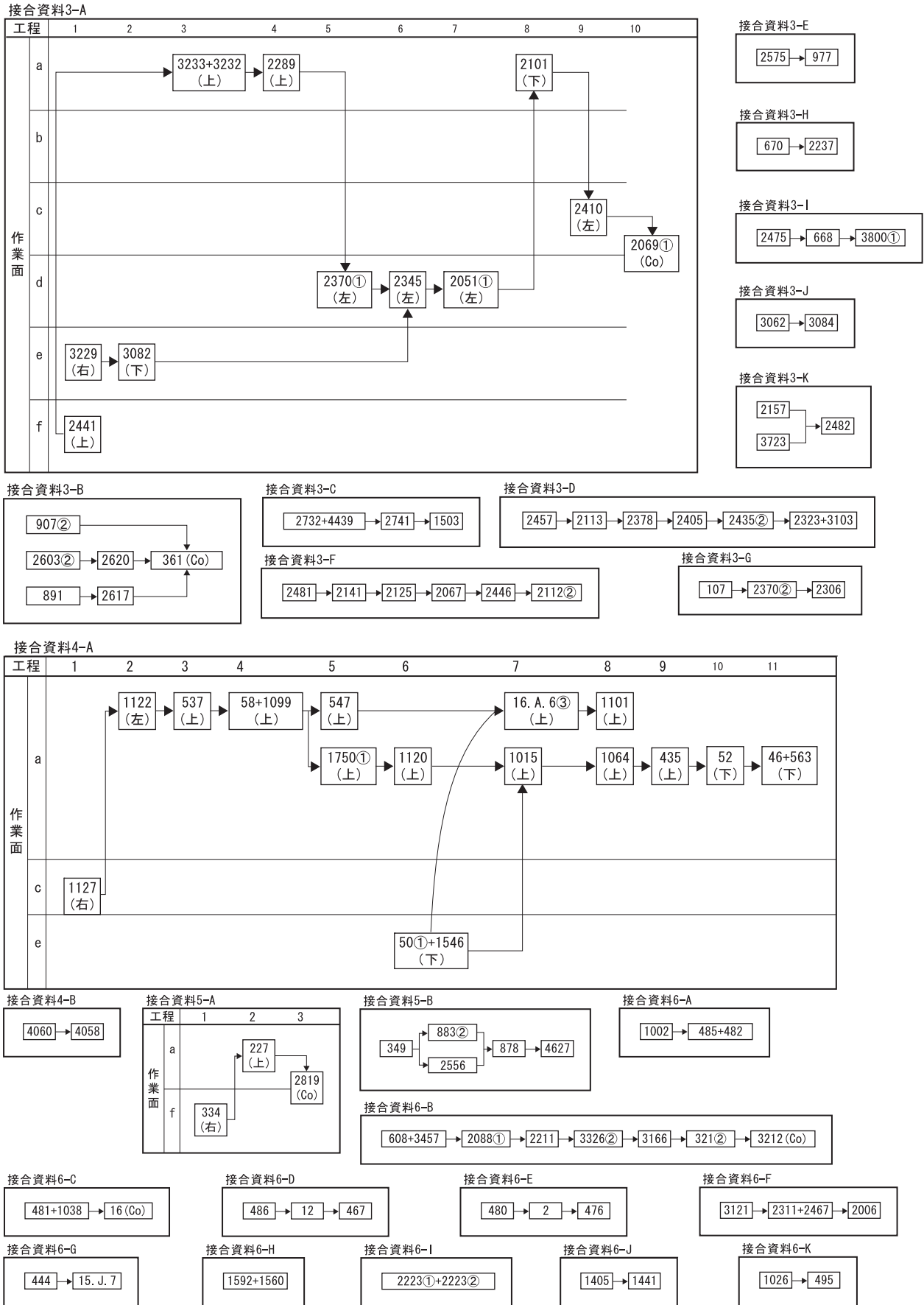


第103図 地蔵田遺跡出土 母岩34、35を構成する石器の分布
Fig.103. Distribution of lithic artifacts classified by nodule groups (nodule No.34 and 35) at the Jizouden Site.



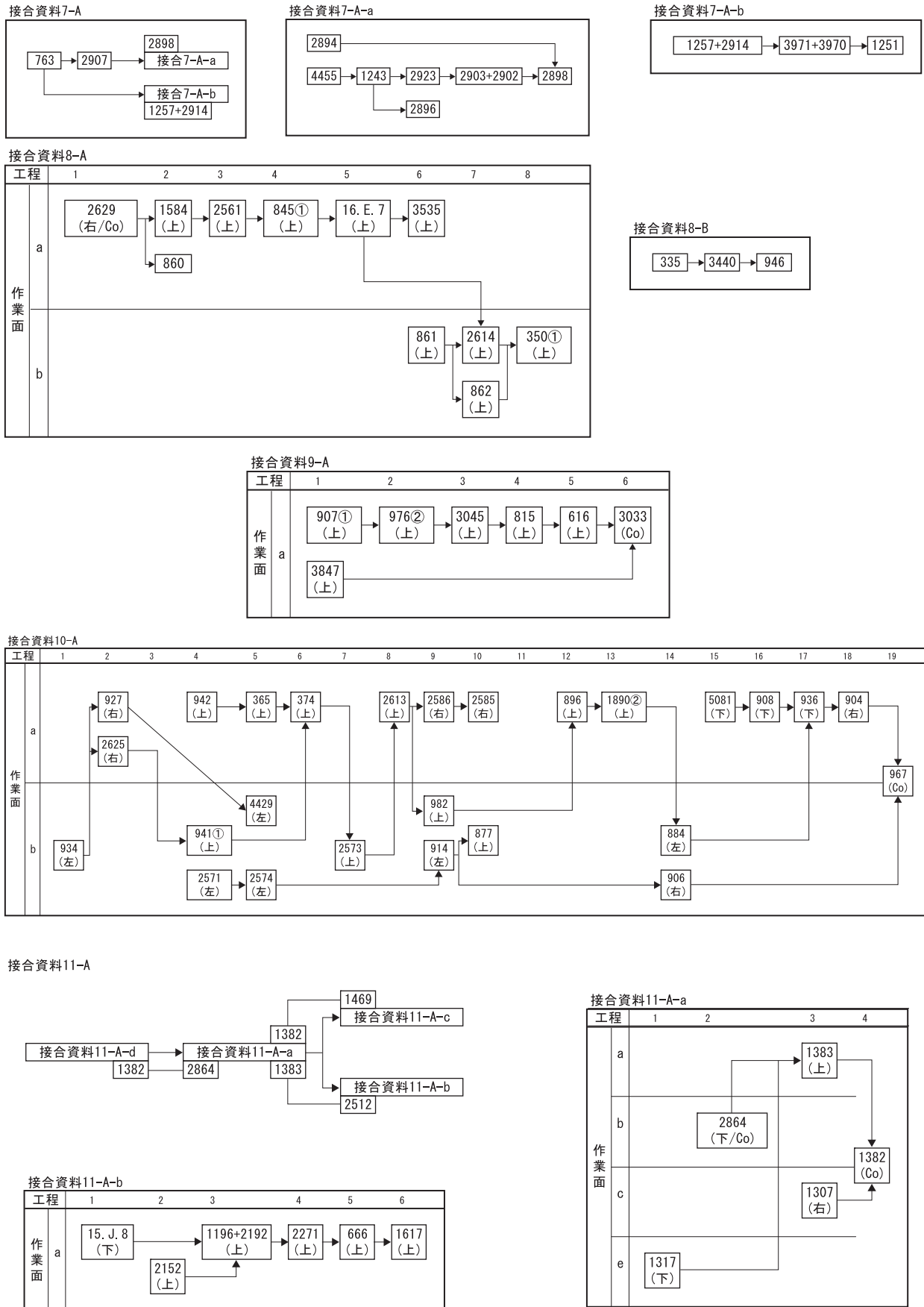
第104図 接合資料工程模式図(1)

Fig.104. Refitted artifacts showing of stone tool production (1).



第105図 接合資料工程模式図(2)

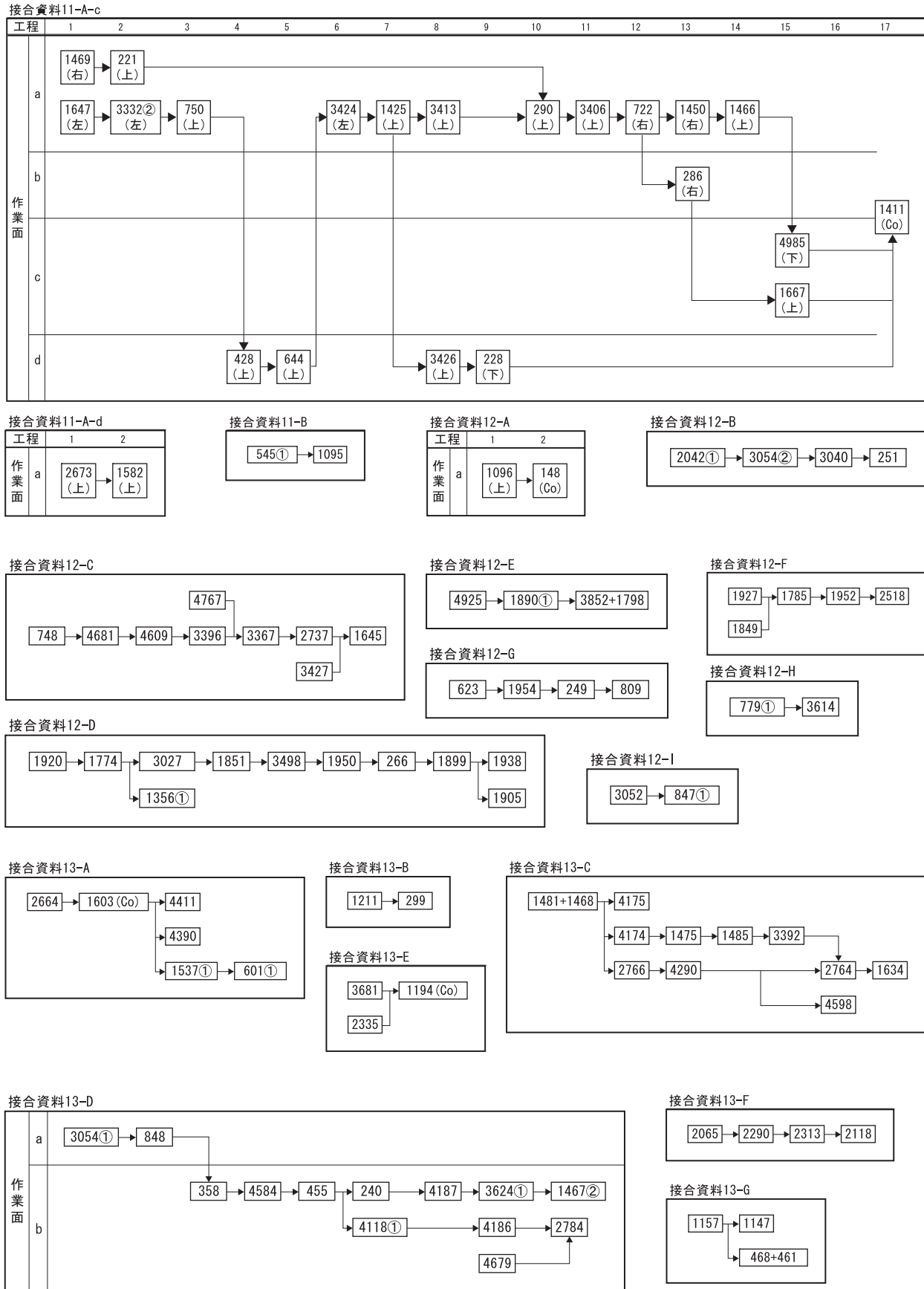
Fig.105. Refitted artifacts showing of stone tool production (2).



第106図 接合資料工程模式図(3)

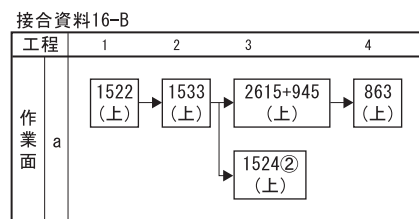
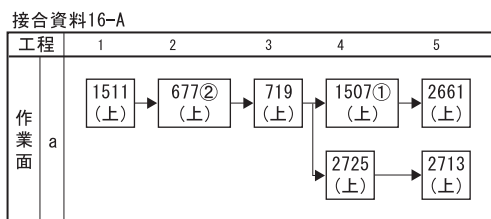
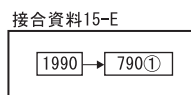
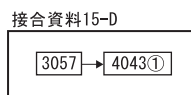
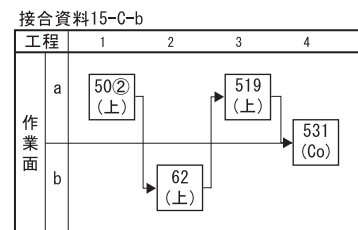
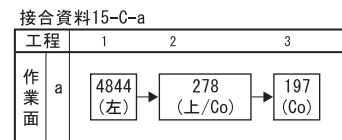
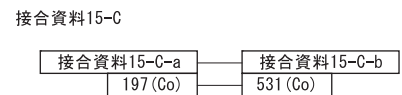
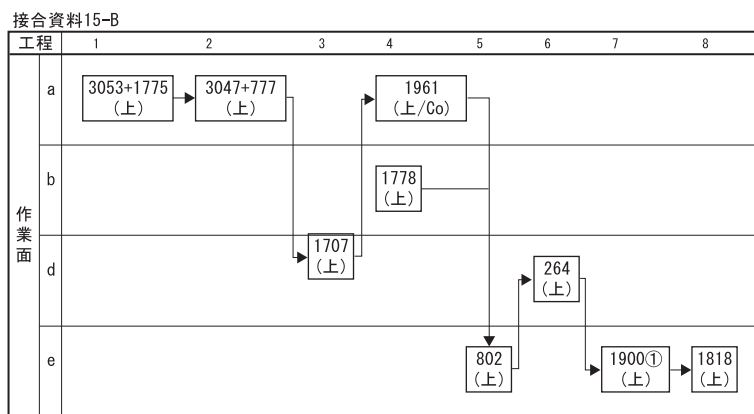
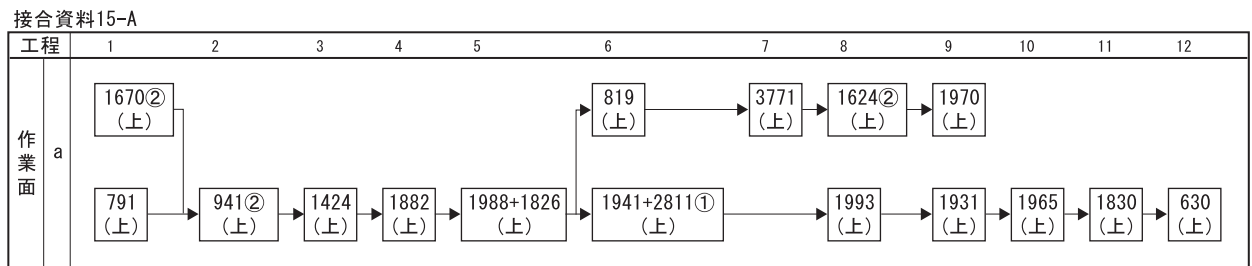
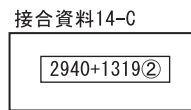
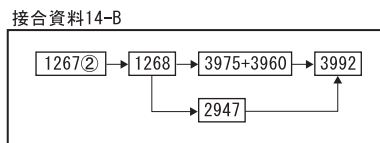
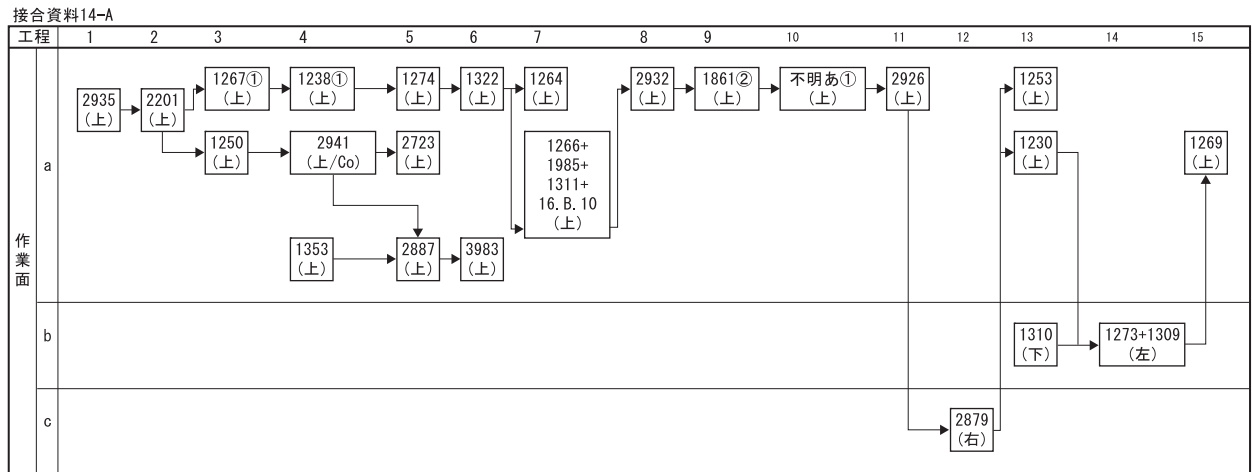
Fig.106. Refitted artifacts showing of stone tool production (3).

第3章 調査の方法と成果
第4節 空間分布



第107図 接合資料工程模式図(4)

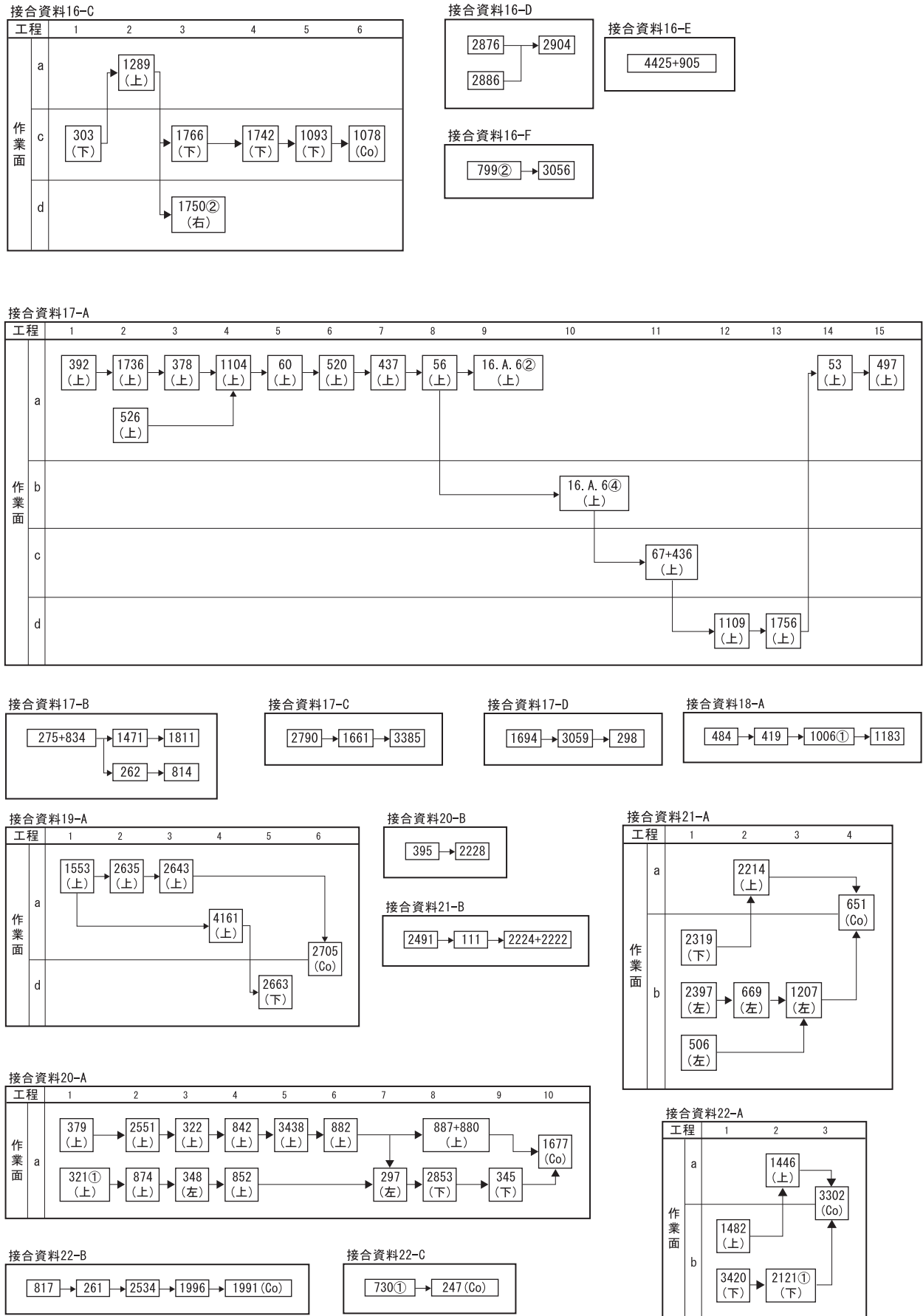
Fig.107. Refitted artifacts showing of stone tool production (4).



第108図 接合資料工程模式図(5)

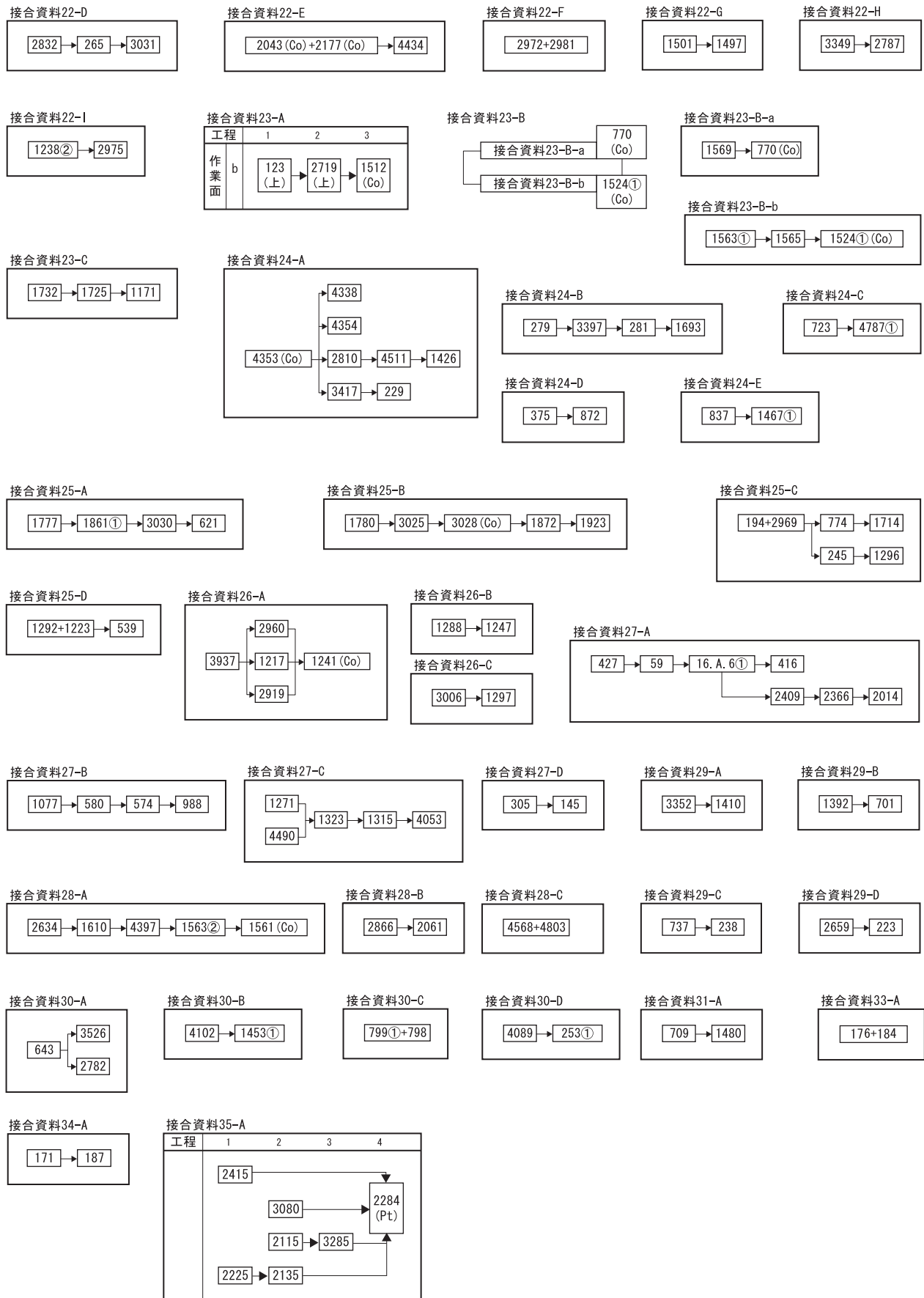
Fig.108. Refitted artifacts showing of stone tool production (5).

第3章 調査の方法と成果
第4節 空間分布



第109図 接合資料工程模式図(6)

Fig.109. Refined artifacts showing of stone tool production (6).



第110図 接合資料工程模式図(7)

Fig.110. Refitted artifacts showing of stone tool production (7).